



スポーツ庁

大学スポーツの振興に係るシンポジウム

—大学スポーツの将来を見据えて—
(大学スポーツアドミニストレーターの役割とは？)

令和元年10月24日(木)

15:00～17:00

SA事業受託大学による先進的取組報告

1. 関西大学

大学スポーツ振興の推進（関西大学の取組）

大学スポーツにおける先進的モデルの企画立案

KAISERS Student-Athlete Program **KSAP** の実践

KSAP1

※KAISERSとは、ドイツ語の皇帝“KAISER”に由来し、体育会各部の総称としている。

キャリア形成支援

～学生アスリートに特化したキャリア形成に資するプログラムの展開～

- **KSAP ポリシー**の策定
- 体育会学生向け**研修プログラム**実施（スポーツマンシップ涵養）
- **スポーツボランティア**実践
- NPO法人関西大学カイザーズクラブが実施する**スクール事業**を通じた**指導者としての実践的な学び**の提供
学校インターンシップ、小・中学校クラブ活動支援
- 地域スポーツ振興を目的とした
スポーツ交流イベントの開催（佐賀県武雄市）
一日スポーツ体験イベントの実施（吹田市）
- **女性アスリート**のキャリア支援強化
- コーチング知識修得のための**海外派遣**（ニュージーランド）



KSAP2

修学支援

- 学生アスリートへの修学上の配慮を行うと共に **Portfolioを活用**
- 体育会学生の**目標設定**および**進捗把握**
- 修学支援対象者の**フォローアップ体制の充実**
- **ピア・サポート制度**の活用
（スポーツピアサポーターを活用し修学面やメンタル面の支援を実施）



KSAP3

意欲向上のための支援

- KSAP**サーティフィケート制度**の構築
- KSAP**褒賞制度**の構築
- **指導者育成プログラム**の構築
公的指導者資格取得プログラムの実施
- KSAP**奨学金制度**の活用（スポーツ振興奨学・奨励金制度の活用）
- KSAP**単位化**の検討

大学スポーツアドミニストレーターの役割



KSAP Portfolio

スポーツを通じた4年間の学びと成長の記録

2018年〇学部入学▲▲▲部所属

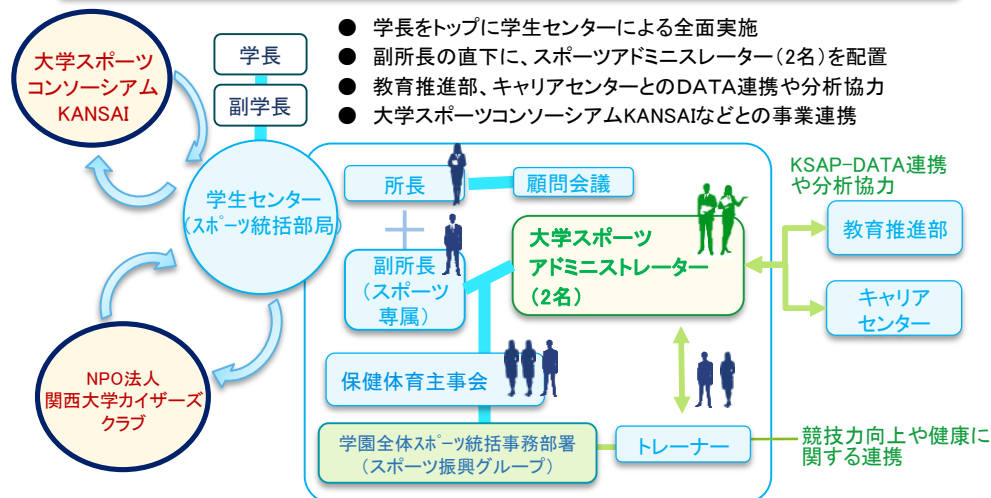
人間
形成
力

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 研修プログラム | ・各回アーカイブ・感想・振り返り・アンケート |
| 地域貢献 | ・一日クラブ体験・清掃活動・指導ボランティア・感想・振り返り |
| 修学支援プログラム | ・半期単位修得状況・振り返り・次学期の目標・褒賞制度 |

競
技
力

- | | |
|----------|--------------------|
| 目標設定 | ・年間目標・月間目標・振り返り |
| 戦績の累加 | ・活動記録・出場記録・振り返り |
| 安心・安全な環境 | ・講習会・マニュアル整備・対応カルテ |

スポーツ分野の統括業務の実施



スポーツアドミニストレーターの活動

①「KAISERS Talk」

～学生アスリートのメンタルサポート～

就職活動のために、
自己理解を深めたい。
職種をしぼりたい。

目標を達成する
ための具体的案を
考えたい！

単位があまり
取れていない。

ちょっと悩みが
あるんだけど。

最近モチベーションが
上がらない。。

※どんな内容でも気軽に来てください

スポーツアドミニストレーターの活動

②就学支援

- ・アスリート勉強会
- ・学生との面談

③指導者研修

- ・コーチング論の紹介
- ・意見交換

④スポーツイベント、取材

- ・新入生歓迎イベントの企画、PR
- ・学内のマスコミ団体等との連携

ご清聴ありがとうございました

2. 国士舘大学

国士舘大学のスポーツ振興における先進的取り組み

KOKUSHIKAN SPORTS PROMOTION CENTER

国士舘スポーツプロモーションセンター

スポーツ・メディカル・ディレクター

田中 秀治

スポーツ・エデュケーショナル・ディレクター

細越 淳二



学校法人 国士舘

国士舘スポーツプロモーションセンター

Kokushikan SPORTS



-



国士舘 スポーツ協議会指定クラブ 34クラブ



【スポーツ分野の統括業務の実施】

【スポーツアドミニストレーターの配置】

国士舘スポーツプロモーションセンターの設置

【Vision】

大学スポーツ環境の一層の向上



【Mission】

全学横断的な取り組み

トップアスリート育成

安全・安心体制の構築

応援文化の醸成

大学スポーツによる地域活性化

スポーツ環境の整備

スポーツ倫理の確立

収益モデルの企画・立案

事故等対応システム設計・提案

- 学校法人国士舘では、平成30年10月1日付で、本学園のスポーツに関わる諸活動を一体的に総括する法人直下の組織として「**国士舘スポーツプロモーションセンター**」を設置した
- 本学の有する資源を十分に活用して、【Mission】を実施し、**大学スポーツ全体の質的向上に貢献する**ことを目的としている

センターの組織体制図及び運営委員

運営委員

チーフ・スポーツディレクター

サブチーフ・スポーツディレクター

外部評価委員

スポーツ・メディカル・
ディレクター

スポーツ・エデュケー
ショナル・ディレクター

スポーツ・ジェネラル・
マネージャー

スポーツ・サイエンス・
ディレクター

スポーツ・
アドミニストレーター

スポーツ・
アドミニストレーター

スポーツ・
アドミニストレーター

スポーツ・
アドミニストレーター

安全・安心WG

スポーツ倫理・人格
形成・キャリア支援WG

事業開発・マネジメント・
マーケティングWG

競技力向上・トップ
アスリート育成WG

※ アクションプラン実施WG

- 当センターでは、重要事項の審議・決定、並びに各WGの連携を図るため、**ディレクター**、各WGの担当**スポーツ・アドミニストレーター**の計**11名**の運営委員によって運営委員会（月1回）を実施している。また、2名の外部評価委員によって外部評価委員会を年2回実施している。

【先進的モデル事業】

アクションプラン A

大学スポーツの安全・安心の確立に資する
プラットフォーム構築事業

アクションプラン B

スポーツ倫理への取り組みに関する実態調査と指導
プログラムの開発

国士舘 メディカルサポート

2018年度のメディカルサポート数

▶ 74 件



マラソン大会



自転車レース



アドベンチャーレース



興業イベント



少年サッカー



大学スポーツ

マラソン大会のメディカルサポート **388**大会のうち、心肺停止に
2003年~2019年3月31日
なったランナーは「40人」、救命率・社会復帰率はともに **95%** です。



これらの実績を踏まえ、大学スポーツの安全・安心の確立を目指し、
「大学スポーツの安全・安心の確立に資するプラットフォームの構築」
事業を実施することとなった。

モデル事業: アクションプランA
大学スポーツの安全・安心の確立に資するプラットフォーム構築事業 **【実施内容】**

メディカルサポート事業



【試合中】メディカル体制の構築

事前準備

- 試合運営側との調整
- 救護スタッフの調整
- 救護資器材の検討・調達
- 活動プロトコル・マニュアルの作成等

救護活動実施

- 救護スタッフの配置
(医師 1名、救急救命士2名)
- 救急用自動車の搬送車配置
- 救護テント・救護器材の設置



【練習中】メディカル体制の構築

- 内容：(1) 医療・救護スタッフ（救急救命士等）の常駐
(2) 受傷した学生アスリートの初期対応（応急手当・病院選定）
(3) 受傷した学生アスリートの病院搬送

スポーツ傷病レジストリー事業



部活動中の救急搬送事案及び傷病発生状況の調査

○キャンパス別救急搬送件数

多摩	2017年	5月7日	-	2018年11月4日	541日間	31件
町田	2017年	6月18日	-	2018年10月2日	471日間	7件
世田谷	2017年	4月4日	-	2018年9月26日	452日間	31件

○キャンパス別救急搬送発生数

キャンパス	数式	発生頻度	一年あたり	一年千人あたり
多摩	31/(541*2068)	2.77086E-06	0.0101136	10.11
町田	7/(471*1698)	8.75265E-06	0.0031947	3.19
世田谷	31/(452*7344)	9.33879E-06	0.0034087	3.41

$$\text{発生頻度} = \text{傷病者} / (\text{調査期間} * \text{学生数})$$

スポーツ傷病レジストリーシステムの構築

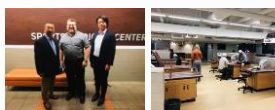
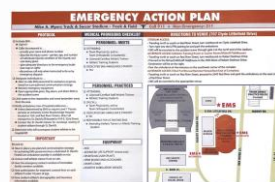
- 方法：(1) データ登録項目・検証システムの検討
(2) システムの運用及び集計・解析
(3) 各スポーツ系クラブに対する解析結果の報告及びフィードバック

EAP推進事業



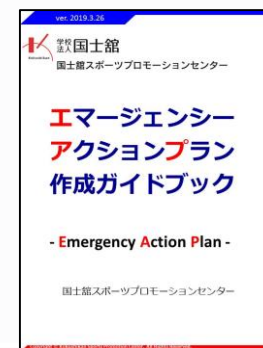
海外（大学）視察

テキサス大学
オースティン校
EAP体制の視察



EAP作成ガイドライン

各競技団体等がEAPを
作成するためのガイドライン



EAP作成講習会

クラブ指導者説明会



選手（主将）説明会

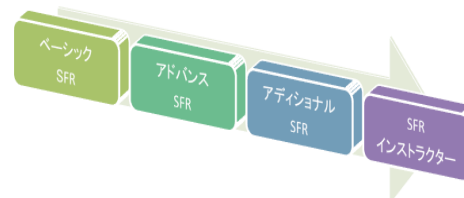


SFRプログラム



スポーツ現場にいる全ての関係者（指導者、スポーツトレーナー、学生アスリート、審判員、大会スタッフ、ボランティア等）をSFRとして育成するため、国士舘オリジナルの認定資格であるSFR育成プログラムを実施している。

ベーシックSFRコース プログラム

[illegible]

国士舘スポーツアスリート憲章 1999（平成11）年11月

- スポーツアスリートは、スポーツが個人の尊厳の上に立脚していることを知る。
- スポーツアスリートの最上の報酬は、たゆまぬ努力から生まれる喜びと充実している自己の存在である。
- スポーツアスリートは、ルールとその精神に従い、スポーツに忠誠を誓う。
- スポーツアスリートは、常に自制を心がけ、自己への尊敬と他者への尊敬を保つ。
- スポーツアスリートは、スポーツ美の創造者であり、スポーツ文化の継承・変革者である。
- スポーツアスリートは、スポーツが「人を生かし、国を活かし、世界に貢献する」ことを知る。



本学では、大学スポーツの質的向上を目指して『**国士舘スポーツアスリート憲章**』『**非暴力宣言**』を制定する等、スポーツに係る倫理的規範を重視しつつ各運動部の活動を実践してきた。

非暴力宣言

1999（平成11）年10月

非暴力宣言

一、国士舘が武道精神を教育の根幹としてきたのは、「礼に始まり礼に終わる」といわれているように、武道には世界的にみても水準の高い人としての生き方「道徳」が含まれており、人格の陶冶に寄与するところが大きいと考えているからである。

一、武道は格闘技に属するが、それを超えるものがある。例えば剣道を学ぶ者は、剣が人を殺しうる道具であるからこそ、日常生活の中で剣を抜かないことを信条とすべきである。そうしてこそ、武道を学ぶ者が人として光り輝くことになる。

一、武道精神を教育の根幹とする国士舘は、したがって、それ故にこそ暴力を否定する学園でなければならない。今後一時の感情にかられ「言論」による説得を忘れて暴力を振るう者が出た場合、国士舘はもはやこれを構成員と認めることはできない。

一、国士舘は、過去に起こった本学学生による事件を契機として、以上のような覚悟をもって非暴力を誓うことを内外に宣言する。

課題

我が国のスポーツ界では、指導者と選手間でのハラスメントの問題や暴力問題など、多くの問題が社会問題化しており、その解決に向けた取り組みを進めることが喫緊の課題となっている。



スポーツ倫理への取り組みに関する実態調査と指導プログラムの開発

学生アスリートが望ましいスポーツ倫理観を身につけ、より安全・安心で彼らの将来につながる意味あるスポーツ経験を享受することができるようになることを意図して、**現場における適切に意思決定できる能力を備えた人材を育成するため**にプログラム開発を行う

1) スポーツ倫理に関する先進的大学による取り組みに係る実態調査

① アンケート調査

各大学のスポーツ倫理観形成に向けた取り組みについてアンケート調査を実施

～調査内容～

- スポーツ倫理観形成に関するプログラム
- 学生のスポーツ倫理観に関わる事柄
- 学生アスリートに期待すること

② 米国NCAA現地調査

2月上旬に米国の現地調査を実施

～訪問場所～

- 米国NCAA (9部署の説明)
- インディアナ大学ブルーミントン校舎



③ インタビュー調査

米国ミネソタ大学の元アスレティック・ディレクターJoel Maturi氏へのインタビュー調査を実施。

～調査内容～

- NCAA
- AD局
- コーチ教育 etc.



2) 学生アスリートを対象としたスポーツ倫理・教育プログラムの開発

- スポーツ倫理・教育プログラムを開発
- e-ラーニング化して学内配信及び学外提供

我が国のスポーツ人材の質的向上に貢献

スポーツ倫理・教育プログラム

1. スポーツの意義と価値について
2. 学生アスリートのあり方
3. フェアプレイについて
4. 反倫理的言動への対応
5. ケース・スタディ

学内の学習支援システムmanabaを利用して、e-ラーニング化

真の学生アスリートをめざして

設問数 23 経過時間 00:10:21

ページ 2 / 42

1. スポーツの意義と価値について

次の()に入る適切な語を、以下の1～3の中から1つ、選んで答えてください。(問題文は「スポーツ基本法」前文より引用)

Q1.スポーツは、世界共通の人類の()である。

1☐財産

2☐文化

3☐知恵

真の学生アスリートをめざして

設問数 23 経過時間 00:10:40

ページ 3 / 42

1. スポーツの意義と価値について

Q1. 解説

平成23(2011)年6月に公布された「スポーツ基本法」では、その前文に「スポーツは、世界共通の人類の文化である」ことがうたわれています。私たちの自己実現だけではなく、スポーツが、地域の活性化や国際交流、国際平和に貢献する役割をもっていることが示されています。

次へ

中断

前へ

真の学生アスリートをめざして

国士館大学スポーツ倫理教育プログラム

～テーマ～

1. スポーツの意義と価値について
2. 学生アスリートの在り方
3. フェアプレイについて
4. 反倫理的言動への対応
5. ケース・スタディ



スタート

国士館大学
国士館大学スポーツ・プロモーションセンター

1. スポーツの意義と価値について

次の()に入る適切な語を、以下の①～③の中から1つ、選んで答えてください。(問題文は「スポーツ基本法」前文より引用)

Q1.スポーツは、世界共通の人類の()である

①財産

②文化

③知恵

国士館大学
国士館大学スポーツ・プロモーションセンター

2019 年度 スポーツ庁委託事業
大学スポーツ振興の推進事業(大学スポーツアドミニストレーター配置事業)

学生アスリートのスポーツ倫理教育推進に 向けたシンポジウム



目 的

全国の大学からの参加を得て、学生アスリートの倫理観形成に向けた、各大学の取り組み及びその成果と課題、今後の展望について明らかにする。

日 時

令和元年 12 月 8 日 (日)
13 : 00 ~ 16 : 00 (予定)
終了後、情報交換会を予定 (1 時間程度)

会 場

国士舘大学世田谷キャンパス
34 号館 B301 教室 (約 350 人収容)

ご清聴有難うございました



学校法人 国士舘

国士舘スポーツプロモーションセンター

KOKUSHIBA™

3. 仙台大学

2018年度

委託事業 成果報告

仙台大学



SENDAI UNIVERSITY

『ホーム＆アウェイ方式試合の試験的実行』 Live映像



SENDAI UNIVERSITY

『ホーム＆アウェイ方式試合の試験的実行』

スポーツ庁 大学横断的かつ競技横断的競技組織(日本版NCAA)創設事業(大学スポーツ振興の推進)

仙台大学スポーツ局開局記念試合

男子

東北大学 蹴球部
VS
仙台大学 サッカー部

11:00 KICK OFF
90min (45half)



女子

常盤木学園 高等学校 サッカー部
VS
仙台大学 女子サッカー部

15:00 KICK OFF
90min (45half)



日付 **2018.11.18 (日)**
※雨天決行 台風などの荒天の際は中止になる可能性があります。(詳しくは仙台大学のホームページをご確認ください。)

場所 **仙台大学南グラウンド サッカー・ラグビー場**
〒980-1093 宮城県仙台市青葉区南二丁目2番18号 (詳しくはホームページのアクセス・キャンパスマップをご確認ください。)

観戦無料

**試合を
ネット生中継決定!!**

仙台大学ホームページからアクセスしてください

ハーフタイムショー

仙台大学新体操競技部、
チアリーディングチーム出演!

お問い合わせ先 **仙台大学 0224-55-1036**
ホームページ <https://www.sendaigaku.jp/>

主催 仙台大学
協賛 東北大学 常盤木学園高等学校 サッカー部



SENDAI UNIVERSITY

『ホーム＆アウェイ方式試合の試験的実行』の収穫と課題

- ・ 対東北大学蹴球部戦(男子)242人 来場
対常盤木学園高等学校サッカー部戦(女子)142人 来場
- ・ ライブ配信：PV数1833ビュー ユニークユーザ数560ユーザー
- ・ ダイジェスト映像：サッカー部公式Twitterにおいて1万件以上再生

→大学スポーツの試合に対する関心度の高さを改めて実感。
ホーム戦の開催と試合放送による大学スポーツの価値創造への
期待感が高まる取組となった。



SENDAI UNIVERSITY

『ホーム＆アウェイ方式試合の試験的実行』の収穫と課題

- ・集客面やインターネット配信においての事前告知が不十分

→より多くの来場者、インターネット観戦者を増やすための工夫

- ・試合当日、カスタマーエンゲージメントを高める工夫が少なかったか

→大学をPRするような学科や研究会、部活動などの個別ブースをオープンするなど



SENDAI UNIVERSITY

『2019年度の取り組み』

テストマッチ
(屋内競技)

情報発信ツール
仙スポ！



コンプライアンス
管理徹底

会計ソフト導入



SENDAI UNIVERSITY

ご清聴ありがとうございました

4. 東京国際大学

スポーツ事業への取り組みについて



2019年10月24日

『国際スポーツアドミニストレーター』の育成

国内外のスポーツ事情に熟知し、大学のスポーツ事業を横断的に企画・管理・運営できる人材の育成

【スポーツ教育】

- 人間スポーツ学科、スポーツ科学科の教育
- 12の強化クラブの経験
 - ・技術、コーチングの習得←一流の指導者
 - ・クラブマネジメント←スポーツ推進部
 - ・連盟運営の経験

【英語教育】

- ネイティブスピーカーによる集中教育、留学生との共学
- 海外留学の経験
 - ・アメリカの大学での1年間の勉学と正規クラブでの公式戦出場
 - ・アメリカ、ドイツ、イギリスの養成機関での技術、コーチング、語学の習得

『国際スポーツアドミニストレーター』の育成【スポーツ教育】

○人間スポーツ学科、スポーツ科学科の教育

- ・スポーツが人々の生活や社会に与える影響を理解し、スポーツをより有効に活用するためのスポーツ教育に関する専門的な知識や指導方法を修得。
- ・身体・心理・栄養・技術・戦術などの幅広い視点からトレーニングの理論と方法を学ぶ。各種目のトップアスリートやエキスパートを育成。

○12の強化クラブの経験

- ・技術、コーチングの習得←一流の指導者
各競技の頂点を知る指導者(オリンピック、トッププロ)
- ・クラブマネジメント←スポーツ推進部
大学事務局がサポート
- ・連盟運営の経験
各競技団体でのリーグ戦等運営の経験

『国際スポーツアドミニストレーター』の育成【英語教育】

- ネイティブスピーカーによる集中教育、留学生との共学
 - ・ネイティブスピーカーによるビジネス英語など目的に応じたカリキュラム、TOEFLクラスや留学修了者を対象とした上級英語クラスによる教育を実施。
 - ・「English PLAZA」を拠点とし、50名の常駐ネイティブ教員や留学生とのコミュニケーションの実践
- 海外留学の経験
 - ・アメリカの大学での1年間の勉学と正規クラブでの公式戦出場
姉妹大学の男女サッカー部に毎年5名程度在籍。
 - ・アメリカ、ドイツ、イングランドの養成機関での技術、コーチング習得
テニス(アメリカ)、サッカー(ドイツ、イングランド)を実施
毎年10名程度が参加

『国際スポーツアドミニストレーター』の育成(2018年度の取り組み)

○「国際スポーツ推進機構」の設置と取組

①強化クラブ総括

- ・緊急時対応計画、傷害予防策の検討、学業成績管理体制・到達必須成績管理基準の設定

②企画マーケティング総括

- ・競技イベントの企画・運営(女子ソフトボール、ウエイトリフティング、硬式庭球、チアリーディング)

③SEI(Sport and English Integration)事業総括

- ・スポーツ・アドミニストレーション(S・A)入門」講座の開設と英語科目(English comprehension IIおよびCommunication basic II)の展開

○3総括にスポーツ・アドミニストレーターを配置

○アメリカの実情調査

- ・IMGアカデミー、USTA National Campus、サドルブルックテニスアカデミーを視察

『国際スポーツアドミニストレーター』の育成(今後の課題)

○取組の組織化

- ・現在の個々の取組を「国際スポーツ推進機構」で体系的な取り組みとして進める

○海外の取り組み事例の検証

- ・国内外のスポーツ局の先進的な取組の理解

○学生へのアプローチ

- ・学生が主体的に取り組むための大学横断、競技団体横断的なサポートが必要

ご清聴ありがとうございました

5. 新潟医療福祉大学



平成30年度 「大学スポーツ振興の推進」 成果報告

新潟医療福祉大学

新潟医療福祉大学 スポーツアドミニストレーター
学校法人新潟総合学園 スポーツ推進室 高橋孝輔

新潟医療福祉大学の概要

名 称 : 新潟医療福祉大学

所 在 地 : 新潟県新潟市北区島見町1398

創 設 : 2001年

設置学部数 : 6学部13学科

リハビリテーション学部 (理学療法、作業療法、言語聴覚、義肢装具自立支援)

医療技術学部 (臨床技術、視機能科学、救急救命、診療放射線)

健康科学部 (健康栄養、健康スポーツ)

看護学部 (看護)

社会福祉学部 (社会福祉)

医療情報管理学部 (医療情報管理)

学 生 数 : 4,271名

クラブ : 強化指定クラブ 10クラブ

(水泳部、陸上競技部、男女サッカー部、男女バスケット部、女子バレー部、硬式野球部、ダンス部、卓球部)

学友会クラブ

サークル

建学の理念：

優れたQOLサポーターの育成

※QOL=Quality of life

保健・医療・福祉・スポーツという4つの分野を横断的に理解し、チームワークを育みながら、より効果的なQOL充足の手法を学び、そして実践する人材の育成。

「長く生きる」という考えから「**いかに良く生きる**」へ。

本学のスポーツ分野の特色

特色①

医療系学部が存在による
リハビリテーション科学とスポーツ科学の融合
(リハビリテーション学部、医療技術学部)

特色②

新潟県にスポーツ系の学部が少なく、
地域のスポーツ団体との密な連携が可能

特色③

アルビックスグループと関係性が深い
(株主・スポンサー)

今回の事業の趣旨及び目的

大学

教員

運動部

スポーツ施設

指導者

健康・スポーツ分野を
実践的に学ぶ

地域

スポーツ少年団

中高部活動

スポーツ愛好家

スポーツ団体

プロチーム

連携
協働
共創

さらに推進し、
モデルとなること
により大学ス
ポーツの発展に
寄与

学び・成長・発展

＜これまでの取組＞
・地域へのスポーツ指導
・障害者スポーツの振興
・アスリートのキャリア支援
など

共にQOLを向上

事業の内容

スポーツ分野の統括業務の実施

- ①ブランド力向上に向けた施策立案
- ②コンプライアンス遵守、安全対策

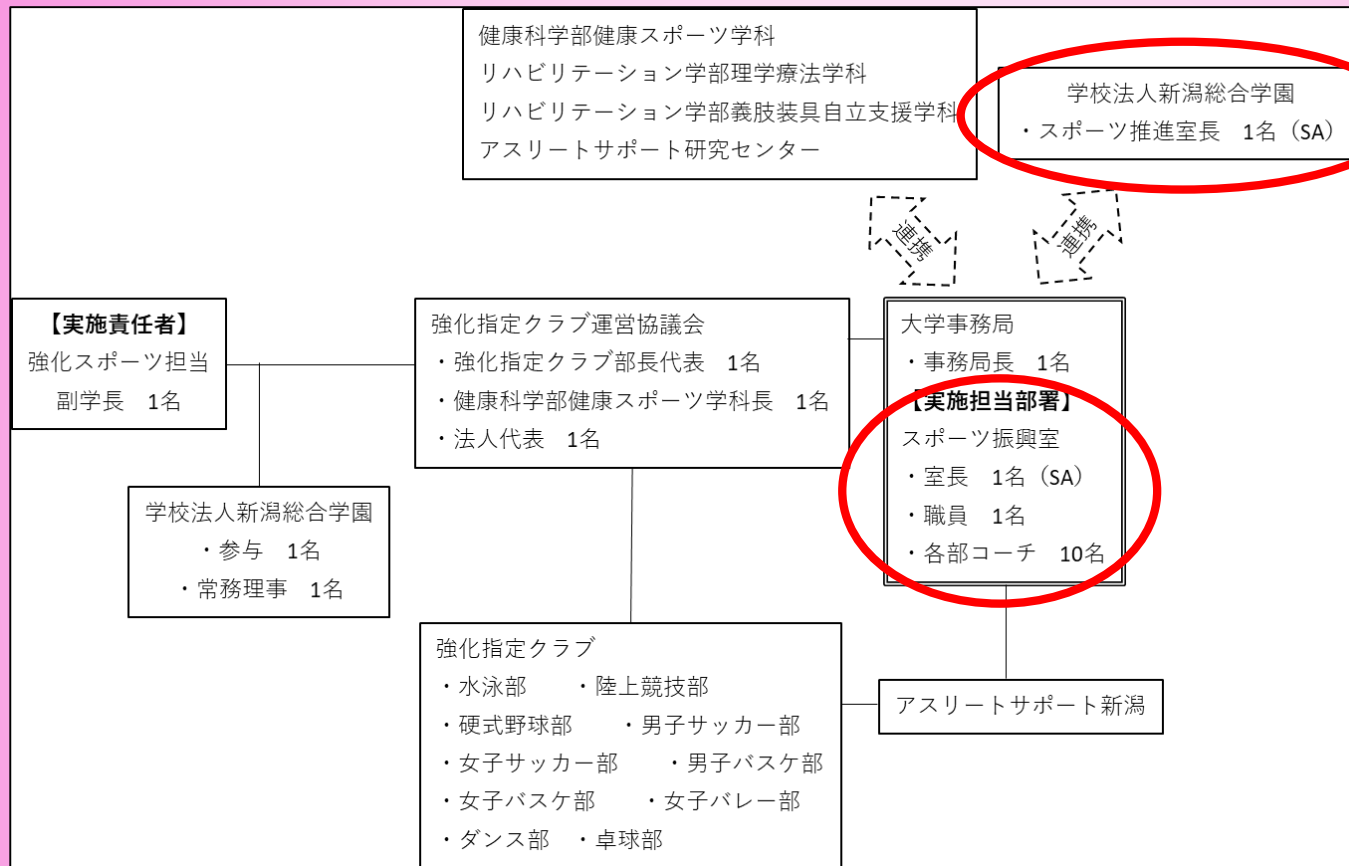
大学スポーツアドミニストレーターの配置

- ①ブランド力向上に向けた施策立案（同上）
- ②大学外との連携強化策立案

大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

- ①スポーツ教室の質のさらなる向上
- ②スポーツ傷害予防フォーラムの実施
- ③アルビレックスグループと連携した人材育成のさらなる推進
- ④障害者スポーツのさらなる振興

事業の実施体制



スポーツ振興室

- ・強化指定クラブのガバナンス管理
- ・強化指定クラブの広報支援
- ・強化指定クラブの指導体制整備
- ・新規強化指定クラブの企画推進
- ・新規スポーツ施設の企画推進
- ・関連学科および部署と連携した大学スポーツ全般の情報集約

スポーツ推進室

- ・アルビレックスグループとの連携推進
- ・N S Gグループ高校、大学、専門学校との連携推進
- ・外部団体との連携推進
- ・スポーツ将来計画の策定

スポーツ分野の統括業務の実施

本学スポーツのブランド力向上に向けた施策立案

情報集約体制と情報発信体制の強化

強化指定クラブ

- ・水泳部
- ・陸上競技部
- ・硬式野球部
- ・男子サッカー部
- ・女子サッカー部
- ・男子バスケ部
- ・女子バスケ部
- ・女子バレー部
- ・ダンス部

情報集約

スポーツ振興室

- ・学内掲示
- ・イベントでのブース作成

連携強化

広報課

- ・ホームページでの発信
- ・SNSでの発信



SNS発信の強化



学内掲示の充実

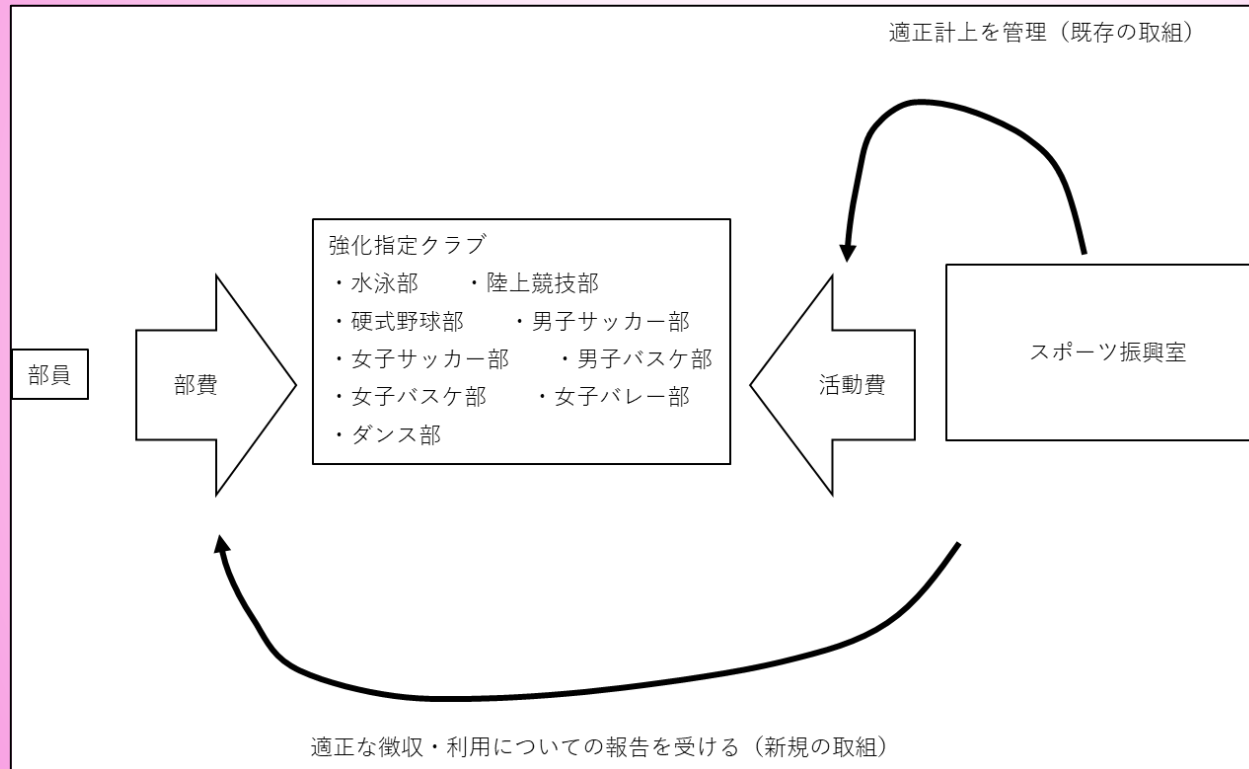


イベントでの情報発信

スポーツ分野の統括業務の実施

コンプライアンス遵守、安全対策

①各強化指定クラブ経費の管理体制の強化

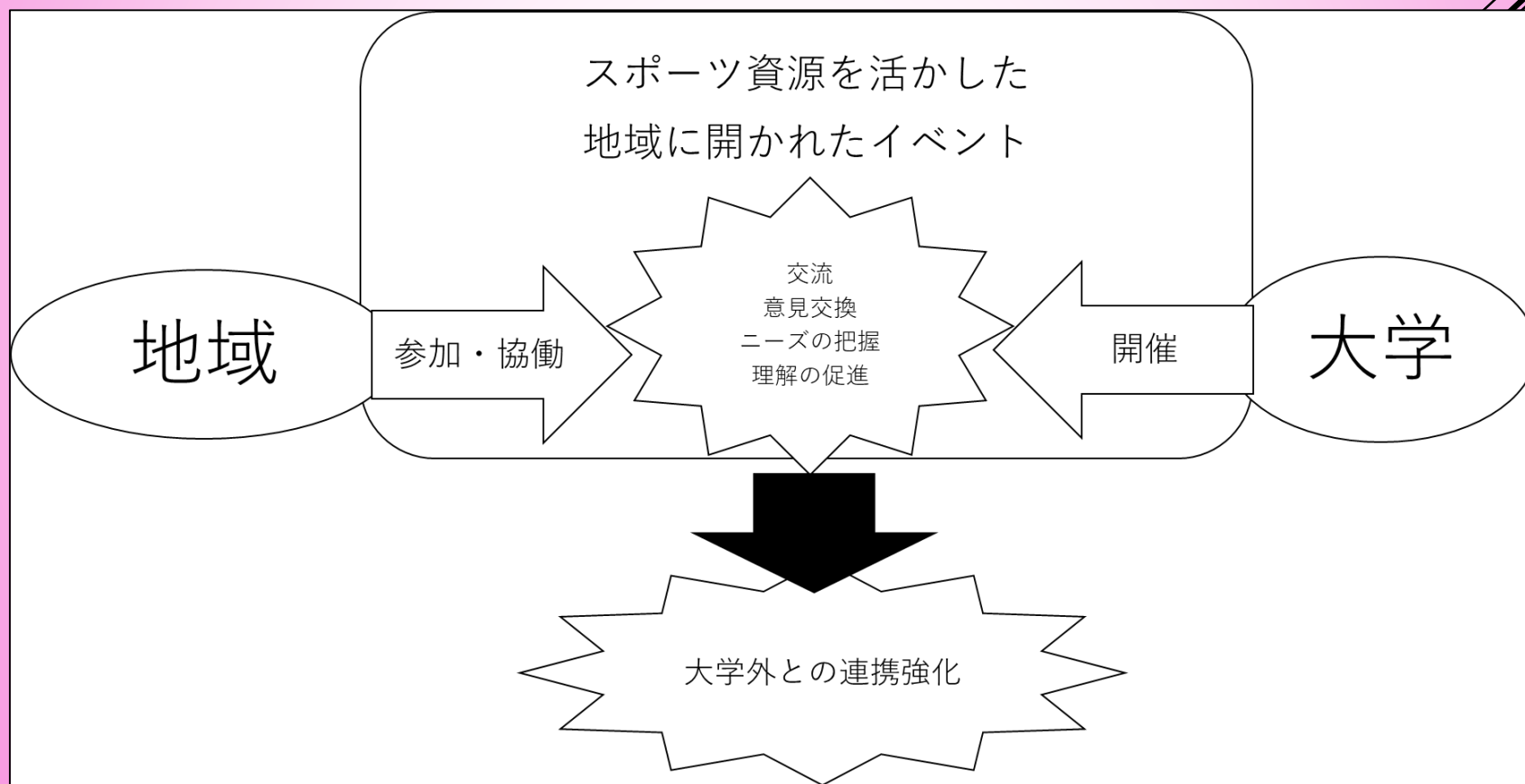


②保険加入状況の調査及び適正な補償内容の検討

大学スポーツアドミニストレーターの配置

大学外との連携強化策立案

地域と関わるイベントによるニーズの把握



大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

スポーツ教室の質のさらなる向上

① 子供の運動能力向上教室



- ① 課題の分析に基づいた指導環境の改善
- ② 指導する学生へのコーチング



事前事後のアンケートによる効果検証

② 陸上教室



参加者のニーズを調査しイベントを開催

- ① 新潟アルビレックスR Cコーチによる特別教室
- ② 学生コーチ企画の特別教室

大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

スポーツ傷害予防フォーラムの実施

スポーツ傷害予防フェスタ in NUHW

地域のミニバスケットボールの小学生を対象に、
傷害予防のクリニックを開催

講義「小学生の身体とミニバスケットボールのけが」
新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科
大森 豪 教授

実技講習「傷害予防に効果的なストレッチング」
新潟医療福祉大学 理学療法学科
菊元 孝則 講師
理学療法学科学生

実技講習「バスケットボールクリニック」
新潟医療福祉大学 男子バスケットボール部
梅津 卓 監督
女子バスケットボール部 寒河江 功一 監督
男子・女子バスケットボール部学生



大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施 アルビレックスグループと連携した人材育成のさらなる推進

アスリートとSNS

アルビレックス新潟の協力の下、公開セミナーの開催

◆講演

①「スポーツにおけるインターネット・デジタル戦略」

株式会社リーグデジタル コミュニケーション戦略部

部長 杉本 渉 様

②「SNS活用の注意点及びSNSの活用事例」

株式会社トレンシス クリエイティブディレクター

兼 公益財団法人日本オリンピック委員会

選手強化本部 インテグリティ教育ディレクター

上田 大介 様

◆パネルディスカッション

「個人と組織のSNS活用の違いと融合」

○株式会社リーグデジタル コミュニケーション戦略部

部長 杉本 渉 様

○株式会社トレンシス クリエイティブディレクター

兼 公益財団法人日本オリンピック委員会

選手強化本部 インテグリティ教育ディレクター

上田 大介 様

○株式会社アルビレックス新潟 代表取締役社長

是永 大輔 様



プロスポーツとの連携 ー アルビレックスグループ ー

アルビレックス新潟・レディース（サッカー）

新潟アルビレックスBB・BBラビッツ（バスケットボールー）

新潟アルビレックスBC（ベースボール）

新潟アルビレックスRC（ランニングクラブ）

アルビレックス チアリーディング

ほか、レーシング、スノーボード、幼児体育 で 10 団体がある

参考：アルビレックスグループと連携した人材育成

取り組み：本学はプロクラブであるアルビレックスグループと連携して、学生の知識や経験を積み、選手だけでなくスポーツに関わる人材育成を推進していく。

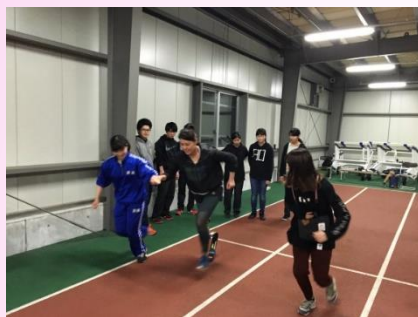
- ①各アルビレックスにおいて学生の運営及びトレーナーでの**インターンシップ生の受入れ**
- ②サッカーやバスケットボールを対象とした**スポーツマネジメント研究**
- ③男女バスケットボール部が新潟アルビレックスBB/BBラビッツ
男女サッカー部がアルビレックス新潟/レディースと**トレーニングマッチ**開催
- ④女子サッカー部員がアルビレックス新潟レディーストップチームに**選手として参加**
- ⑤授業科目における**経営者・アスリートの講演**
「プロスポーツクラブと地域の関係づくり」
「アスリートの世界」教養科目 ほか
- ⑥アルビレックスからの**人材派遣**（指導者）
 - ・男子サッカー監督・コーチ
 - ・女子サッカー監督・コーチ
 - ・陸上競技女子駅伝コーチ



大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

障害者スポーツのさらなる振興

① 義足陸上教室の推進



義肢装具自立支援学科を中心に
取り組まれ、理学療法士とも連携。

- ① 全国障害者スポーツ大会への参加と視察
- ② 外部コーチとの交流
- ③ 義足消耗パーツの整備

② 車いすバスケットボール普及の推進



既に全学生が必修科目で車いす
バスケットボールを履修。サークルも
結成される。

- ① 地域での体験会の開催
- ② U-23代表コーチによる講習会

総括

スポーツアドミニストレーターを中心とした組織体制の整備

本学の特色のさらなる推進

地域との連携

スポーツ科学とリハビリテーション科学の融合

障害者スポーツの取り組み

アルビレックスグループとの連携

大学の特色と地域のニーズを連携させることにより、
大学が地域と共に発展する一つのモデルを提示

今年度の取組

スポーツ科学と
リハビリテーション科学
の融合の推進



①アスリートの傷害発生予防を目的とした調査研究と予防的介入活動

スポーツ傷害発生調査

超音波による疲労骨折のスクリーニング調査

女性アスリートの栄養サポート体制の構築

脳震盪発生状況調査

アルビレックスグループ
と連携した人材育成
の推進



②アルビレックスグループと連携した課題解決型教育プログラムの構築

課題解決型
教育プログラムの調査

検討委員会による
プログラムの構築

学生アスリート
のキャリア形成支援
の推進

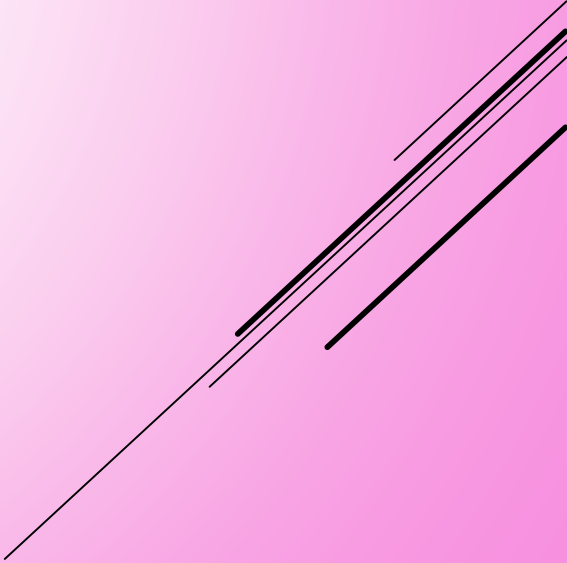


③新潟医療福祉大学版学生アスリートのキャリア形成支援プログラムの構築

キャリア形成
支援プログラムの調査

検討委員会による
プログラムの構築

ご清聴ありがとうございました。

Three parallel diagonal lines in the bottom right corner, consisting of a thin black line and two slightly thicker grey lines.

6. 法政大学



2018年度 スポーツアドミニストレーター 配置事業報告

2019年10月24日

法政大学

法政大学常務理事 近藤 清之

SA配置事業 法政大学の取り組み項目

1. 学生アスリートのキャリア形成支援の強化
2. スポーツ科学の知見を導入した大学スポーツの強化
3. スポーツによる地域連携強化
4. 社会人向け履修証明プログラム「健康とスポーツ」の開設
5. 多摩トレーニング施設を利用した学生スポーツ環境の整備

大学スポーツに係る法政大学の体制

スポーツ政策の統括

保健体育センター
(アスレチックデパートメント)

センター長
副センター長
事務管理職

スポーツ
アドミニストレー
ター

アスリート向け教育

スポーツ・サイエンスイン
ス・インスティテュート
運営委員長

スポーツ科学の研究

スポーツ研究センター
所長

スポーツ憲章 の実現

法政大学スポーツ憲章

1. 大学教育とスポーツ

スポーツは、学業とあいまって学生の全人的な成長を促すという意味で、人間力豊かな人材の育成を担う本学の教育に不可欠なものと考えます。

2. 建学の精神とスポーツマンシップ

スポーツは、各人（各チーム）がもてる能力のすべてを発揮し、自由にそしてフェアに競いあう活動であり、また不可能を可能にする絶えざる挑戦でもあります。その意味で、スポーツマンシップの涵養は、本学の建学の精神である「自由と進歩」に響き合うものと考えます。

3. ユニバーシティ・アイデンティティと社会的評価の向上

本学スポーツの活躍は、本学構成員の活力を醸成し、本学のアイデンティティの形成に資するものです。また、大学スポーツのみならず、わが国におけるスポーツの振興・発展に寄与するならば、それは本学の社会的評価を高めることとなります。

4. スポーツによる地域貢献

少子高齢化の時代を迎えた日本社会において、人々はスポーツへの多様なかわりを通じて健康の増進を図り、生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現することが求められています。本学は、豊富に有するリソースを生かして、地域とも連携し、こうした課題にも応えていきたいと考えます。

5. スポーツの振興・発展

本学は、スポーツの文化価値と大学教育における意義を深く認識し、スポーツに関する研究を推進するとともに、支援体制を強化し、施設や指導体制を含む活動環境を整備することによって、スポーツのさらなる振興・発展をめざします。

大学スポーツに係る法政大学の体制

＜保健体育センター会議＞

- ・ 担当理事
- ・ センター長
- ・ 副センター長
- ・ 事務管理職
- ・ 学部執行部(15学部)
- ・ 体育会部長(2名)
- ・ SSI運営委員長
- ・ スポーツ研究センター長
- ・ 学生センター長
- ・ 入学センター長
- ・ 学務部長
- ・ 学生支援統括本部長

＜審議事項＞

- ①全学の学生の健康管理及び健康の増進に関する事項
- ②体育会各部の健全な運営と活動の支援に関する事項
- ③体育会各部に所属する学生が健全に活動するための支援に関する事項
- ④体育会各部の部長及び監督の委嘱に関する事項
- ⑤体育会各部の事件・事故及び処分に関する事項
- ⑥スポーツに優れた者の特別推薦入学試験に係る推薦枠に関する事項
- ⑦スポーツ特待生制度に関する事項
- ⑧体育会各部及び所属学生への表彰並びに奨学・奨励金等の推薦に関する事項
- ⑨大学が指定する強化指定部に関する事項
- ⑩副センター長の推薦, センター会議構成員の選出及びセンター嘱託の採用に関する事項
- ⑪その他体育会活動の支援に関する必要な事項

＜運営に係る諸規定＞

- ・ 法政大学体育会規程
- ・ 体育会強化指定部に関する規程
- ・ 体育会会計処理規程
- ・ 法政大学体育会各部等の処分に関する規程
- ・ スポーツ特待生に対する奨学金給付規程

等々

1. 学生アスリートのキャリア形成支援の強化

<スポーツ・サイエンス・インスティテュート(S S I)>

■スポーツに優れた者の特別推薦入学試験による入学者を対象とするアスリート向け教育プログラム。

■約800人の学生アスリートたちが履修。

■学生は所属する学部で基礎(教養)科目・専門科目を学びながら, S S I 科目を履修。

所属学部の専門能力×アスリートとしての専門能力を同時並行的に磨く。

⇒教養ある大学生アスリートおよび良識ある指導者(グッドコーチ)の育成を目指す。

<改善の方針>

■スポーツ科学の基礎的な科目を設置し, 科学的なトレーニングとコーチングを実践するための基礎的な能力を身につける。

■スポーツ科学の専門的知識を学ぶ科目を設置し, 自らのハイパフォーマンスを実現する能力と, 自らが指導者になった時にハイパフォーマンスを実現させるためのコーチングを行う能力を獲得できるようにする。

■スポーツ科学と融合させることができる学際科目(キーワードとして, 文化, 健康, 生涯学習, 地域, ボランティア, 持続可能性など)を充実させ, スポーツ科学をより幅広く発展させる能力を養う。

1. 学生アスリートのキャリア形成支援の強化

SSI 設置科目を「スポーツ科学系」、「健康科学系」、「スポーツキャリア系」の3分野に分類。

【スポーツ科学系 28科目】

「リーダーシップ論Ⅰ」「リーダーシップ論Ⅱ」「スポーツ文化論」「スポーツと法Ⅰ」「スポーツと法Ⅱ」「トップアスリート論」「スポーツメディア論」「スポーツ社会学」「スポーツ振興論」「スポール組織論」「スポーツ実習Ⅰ」「スポーツ実習Ⅱ」「オリンピック・パラリンピックを考える」「スポーツ学入門」「スポーツ経営論」「スポーツ心理学」「アスリート育成指導法」「スポーツ指導論」「トレーニング科学」「身体運動学演習」「スポーツ方法論」「トレーニング理論と実践」「スポーツ情報戦略論」「スポーツビジネス論Ⅰ」「スポーツビジネス論Ⅱ」「スポーツ産業論」「スポーツマーケティング論」「スポーツメンタルトレーニング論」

【健康科学系 10科目】

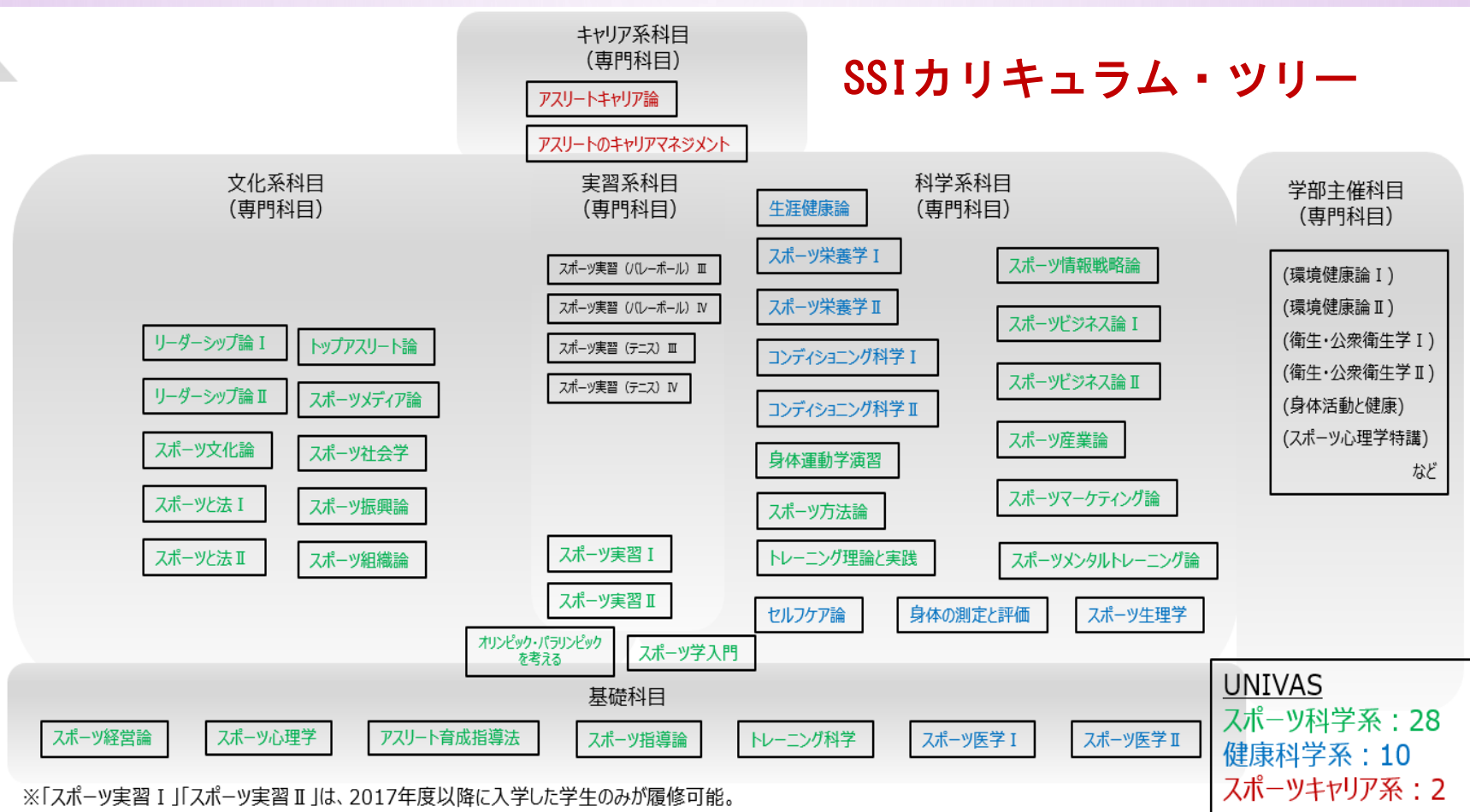
「生涯健康論」「スポーツ栄養学Ⅰ」「スポーツ栄養学Ⅱ」「コンディショニング科学Ⅰ」「コンディショニング科学Ⅱ」「セルフケア論」「身体の測定と評価」「スポーツ生理学」「スポーツ医学Ⅰ」「スポーツ医学Ⅱ」

【スポーツキャリア系 2科目】

「アスリートキャリア論」「アスリートのキャリアマネジメント」

1. 学生アスリートのキャリア形成支援の強化

SSIカリキュラム・ツリー



※「スポーツ実習 I」「スポーツ実習 II」は、2017年度以降に入学した学生のみが履修可能。

1. 学生アスリートのキャリア形成支援の強化

■スポーツ心理学【スポーツ科学系】

＜授業の概要と目的＞運動・スポーツと心の関係を学ぶ。

＜到達目標＞発育ステージに応じたプログラムづくり，スポーツと個人要因・環境要因，スポーツへの動機づけやコーチングの評価，メンタルトレーニング，チームマネジメントなどについて理解し，スポーツ場面での実践に活かせるようになることを目指す。なおこの授業は，文部科学省が育成を推進している「就業力」の構成要素である「情報収集・分析・発信力（主に，情報源把握力，信頼関係構築力）」と「状況判断・行動力（主に，自己変革力，環境変革力）」の育成に貢献することを目指す。

■スポーツ生理学【健康科学系】

＜授業の概要と目的＞この授業では，スポーツや運動に対する身体の生理的応答および適応を学習することを大きなテーマとする。また，筋の形態や機能，エネルギー代謝の調節，ホルモン分泌，神経・呼吸循環調節など，様々な観点からスポーツ場面における生理的調節機序の基礎を学ぶことを目的とする。

＜到達目標＞1. スポーツ生理学の基礎的な用語を用いてスポーツ・運動時における身体の応答や適応について説明することができる。2. 授業を通じて学んだ知識・情報を用いて，効果の高いスポーツトレーニングや運動を実践することができる。

■アスリートのキャリアマネジメント【スポーツキャリア系】

＜授業の概要と目的＞アスリートのキャリアについて考える

＜到達目標＞アスリートのキャリアマネジメントについて学ぶことで，以下の2点に到達することを目指す。第一に自分自身のキャリアをマネジメントするために具体的な行動を起こせるようになること，第二に同級生や後輩にキャリアについて助言ができるようになることである。

この授業は，文部科学省が育成を推進している「就業力」の構成要素である「情報収集・分析・発信力（主に，信頼関係構築力，対象者確定力，情報伝達力）」と「状況判断・行動力（おもに行動力，説得力，共同行動力）」の育成に貢献することを目指している。

2. スポーツ科学の知見を導入した大学スポーツの強化

<法政スポーツ強化プロジェクト>

■2017年5月にスポーツ研究センターに専任研究員を配置。

■専任研究員主導のもと、特に硬式野球部において**トレーニングにスポーツ科学の導入**。

「コンディショニング指標」「ポジション別特性」を明らかにすることを目的に、2018年度1年間通じて**継続的な体力測定(関節可動域測定, ジャンプパフォーマンスやペダリングパフォーマンスの実施)**, **血液成分測定, 体組成測定を実施**した。更に測定の際に得られたデータをもとに、トレーニングメニューの編成を実施した。

■スポーツ研究センター所員であり、本学文学部においてスポーツ心理学を指導する教授による**メンタルトレーニング**や、同じく本学法学部に所属しスポーツ医学を専門とする**教授と管理栄養士の共同による食事療法**も同時並行的に実施。

<学生スタッフ強化の実施>

■多摩キャンパスのトレーニングセンターに、スポーツ健康学部で**コンディショニングを学ぶ学生トレーナーを配置**。

従来、数名の学生がゼミの研究を兼ねて配置されていたが、事業5(後述)で雇用した**アスレティックトレーナーによる実践的な指示に基づいて、専門的なコンディショニングサポートを実施**するようにした。

■従来、法政スポーツ強化プロジェクトの対象であった**陸上競技部から範囲を拡大**して、2018年度は全日本学生選手権で優勝を果たした**サッカー部にも対象を広げた**。このように多摩キャンパスで活動する他の部へと、効果を拡大するための取り組みが成果を挙げている。

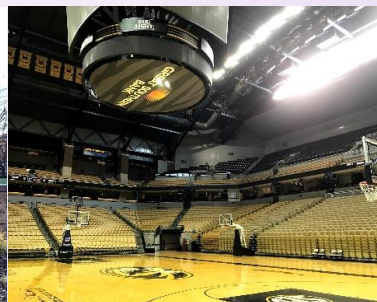
<海外大学・国内大学の調査>

■ミズーリ大学

■関西大学

■立命館大学

2. スポーツ科学の知見を導入した大学スポーツの強化



3. スポーツによる地域連携強化

<市ヶ谷キャンパスにおける取組>

■東京オリンピック・パラリンピック連携プロジェクト

第1部 フェンシングデモンストレーション

体育会フェンシング部の現役部員2名が試合を実演，大日本印刷株式会社・天利氏が解説。

…フェンシングについては見たことはあったが，選手間の駆け引きなど，表には出てこない選手の思考などの解説を聞いたことで，今後より楽しんで応援していけそう。等

第2部 車いすフェンシングデモンストレーション

本学OBであり東京地下鉄株式会社所属の安 直樹選手を招き，フェンシング部員1名との試合を実施。

…健常者フェンシング以上に勝敗が決するスピードが早く，駆け引きが重要になる車いすフェンシングを目の当たりにして非常に驚いた。



DNP様の協力でイラスト講座・コンテストを並行して開催



3. スポーツによる地域連携強化

<多摩キャンパスにおける取組>

■NPO法人 法政クラブと法政大学が連携し、サッカー・バスケットボール・バドミントン・陸上競技の教室を開催

サッカー教室についてスポーツ研究センターが全面協力、センター委員であり本学スポーツ健康学部の教授である清雲 栄純教授の指導の下で、地域のサッカークラブに所属する小学生の男女が汗を流した。

清雲教授は日本代表コーチやJ1チームの監督を務めた経験を持っており、地域のチームでは受けることができないトップレベルの指導に多くの少年少女が感嘆し、熱心に取り組んでいた。

<小金井キャンパスにおける取組>

■法政大学・黄金井倶楽部交流「卓球大会」、「陸上教室」、「野球教室」を開催

スポーツ研究センター委員であり理工学部所属の金光教授、同じく生命科学部所属の越智准教授がアドバイスをしながら実施。

「卓球大会」

個別指導の部門で、本学小金井キャンパスを主拠点として活動している法政大学工体連卓球部の部員4名が指導。

「陸上教室」

箱根駅伝2年連続6位の法政大学体育会陸上競技部駅伝チームメンバーが指導に参加。

「軟式野球教室」

スポーツ研究センター委員で、本学野球部副部長である金光理工学部教授が指導に参加。



4. 社会人向け履修証明プログラム 「健康とスポーツ」の開設

学生アスリートを対象とした教育プログラムである「スポーツ・サイエンス・インスティテュート（SSI）」のカリキュラムをベースに，“社会人学び直し”に資する科目群を構成し，履修証明書を発行するプログラムを構築。

■開設記念シンポジウムの実施

第1部 予防歯科の世界的権威である日吉歯科診療所の熊谷崇理事長の講演

第2部 本学出身のオリンピックでもあり日本を代表するアスリートの苅部俊二教授の講演

第3部 本学体育会の活動をサポートする教授および非常勤講師を含めた5名によるパネルディスカッション

■履修証明プログラム応募の開始

2月18日の募集開始にむけてプログラムの広報を本格的に開始。

本学WEBサイトをはじめ，本学スポーツ関連情報の発信に特化した「法政スポーツインフォメーション」，市ヶ谷キャンパスがある千代田区の商工連合会が運営する「千代田区商工連合イベントナビ」にて募集要項を公開。

市ヶ谷キャンパスにおいて2月23～24日開催の「55・58フェアウェルDAYS」や，通信教育部の冬季スクーリングにおいて募集要項を配布。

■初年度受講者

初年度のプログラム受講生としては3名の社会人が受講を開始。

受講生は，診療所の運営にあたってコンディショニング科学の知見について学びたい学生，自身が経営するスポーツショップの安定した経営を目指しスポーツマーケティング論を学びたい学生等々である。

4. 社会人向け履修証明プログラム 「健康とスポーツ」の開設

活動大学

健康とスポーツ

HEALTH & SPORTS

12月9日(日) 13:30~16:50

参加費 定価500名

プログラム

- 13:30-14:00 開会式
- 14:00-14:30 健康パート講演
船谷 孝
日本体育大学 教授
運動と健康の関係を解説し、
健康とスポーツの重要性を説く。
- 14:30-15:00 スポーツパート講演
刈谷 俊二
スポーツ振興センター
スポーツ振興の重要性を説く。
- 15:00-15:30 パネルディスカッション
船谷 孝
刈谷 俊二
日本体育大学 教授
スポーツ振興センター
健康とスポーツの重要性を説く。
- 15:30-16:00 アスリートの健康とスポーツ
- 16:00-16:30 閉会式

2018年 12月9日(日)
13:30~16:50

活動大学 船谷 孝 先生、日本体育大学 教授、
スポーツ振興センター 刈谷 俊二 先生、
健康とスポーツの重要性を説く。

参加費 定価500名

申し込み

申し込み方法

申し込み期限

申し込み窓口

申し込み手数料

申し込み料

申し込み方法

申し込み期限

申し込み窓口

申し込み手数料

申し込み料



5. 多摩トレーニング施設を利用した 学生スポーツ環境の整備

<アスレチックトレーナーの配置>

■2018 年10 月～ 多摩キャンパス・トレーニングルームにアスレチックトレーナー有資格者を週2 日配置。

- ・各部に依存していた安全面・健康面の管理を、大学として整備することが目的。
- ・従来、少々の痛みや不調は、練習や我慢が優先され、怪我やパフォーマンスの低下につながる事例が少なくなかった。
- ・練習の前や合間に、気軽に相談ができるよう、トレーニングルーム内のケアルーム（トレーナー室）にその環境を用意。学生（選手）が痛みや不調を後回しにしない土台づくりを目指すもの。

■2018年10-2019年2月トレーナールーム処置報告

学年	1年	2年	3年	4年	M1	M2	OB
人数	75	56	33	38	1	1	20

処置目的	COND	RECOND	CHECK	ACUTE
件数	117	115	30	2

COND…マッサージ希望や試合練習前/後の調整など、明確な主訴の無いもの

RECOND…アスリハや局所テーピング対応や外傷障害に対する施術、局所部位の明らかな主訴のあるもの

CHECK…評価・確認のみ

ACUTE…外傷・障害に対する急性期の対応

5. 多摩トレーニング施設を利用した 学生スポーツ環境の整備

■ケアルームの利用状況

- ・ 5カ月間で延べ224名（処置件数273件）がケアルームを訪問。
- ・ 当初、「法政スポーツ強化プロジェクト」の対象クラブである陸上競技部を中心に行ったが、徐々にその実績が伝わり、他の部からの相談も増えていく状況になった。

【特記事項】

- ・ 低学年（1,2年生）の来訪者が多い。
今回は10月～2月における5ヶ月間の短いデータのため必ずしも正確なデータとは言えないが、見過ごせない結果を得ることができた。高校を卒業して、一気に身体の大きさや技術もレベルが上がる中で、練習や試合の疲労等が低学年（1,2年生）に多く出ているのではないかとの懸念を示す結果となった。
- ・ 上級生（3,4年生）になると、その数は約半分になることから、一概に上記の推測は間違いではないと考えられる。不調を訴える場所が身近にあるという環境の整備に対して、一定の成果が出せたものと推察できる。
- ・ 処置目的としては、明確な主訴の無いもの、局所部位の明らかな主訴のあるものがほぼ同数であった。いずれも、疲労（場合によっては怪我の直前）の場合もあれば、怪我をした後の回復期による相談と様々である。怪我をさせない、怪我を悪化させないという意味では、定期的な確認を行うことは重要であり、その環境を提供する必要性を証明できた。

⇒2019年度から大学経常費にてケアルームの継続を決定した！

5. 多摩トレーニング施設を利用した 学生スポーツ環境の整備



ご清聴ありがとうございました



7. 武庫川女子大学

2018年度 スポーツ庁委託事業 成果報告会

2019.10.24(木)

武庫川女子大学



武庫川女子大学

- 「むこがわじょしだいがく」と読みます。
- 1939年創立（今年度、創立80周年）
- 学生数は、約10,000人。
（大学約8,100人・短大約1,500人）
- 兵庫県西宮市に3つのキャンパス。
- 大学は、7学部14学科。短大は7学科。
- クラブ数は、64団体（運動部31団体）。
- マスコットキャラクターは黒ウサギ「LAVY」。

武庫川女子大学 マスコットキャラクター「LAVY」

黒い色は芯の強さと強い意志を表します。

白のワンピースは、これから様々な色を選ぶという可能性と純粋さを表します。

ウサギの大きな足と跳躍力は、将来、社会で活躍し貢献することへの実行力、行動力を表します。

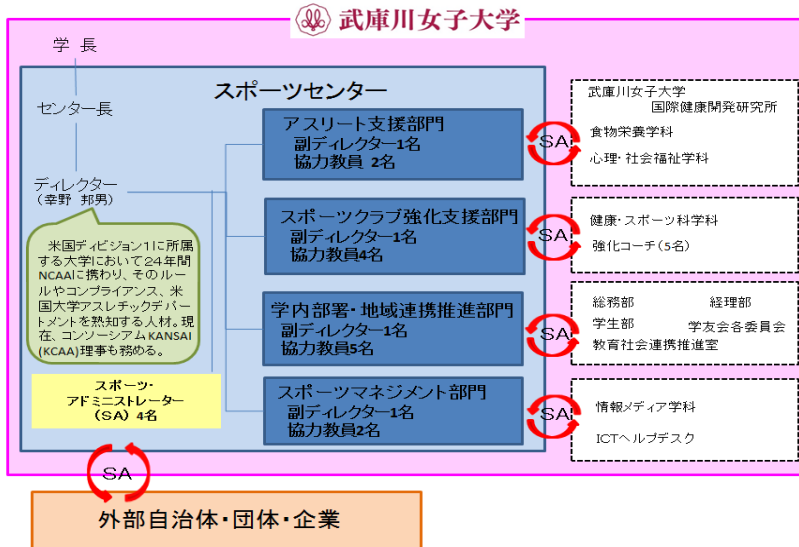


ウサギの長い耳は、好奇心、情報をキャッチし収集する力を表します。

明るく元気であり、思いやりや美しさ、優しさを兼ね備えている女性のイメージを親しみやすいキャラクターで表現。

大学スポーツ振興の推進(武庫川女子大学の取組)

(1) スポーツ分野の統括業務の実施



(2)「大学スポーツ・アドミニストレーター」の配置

2017年2月、スポーツセンター設置

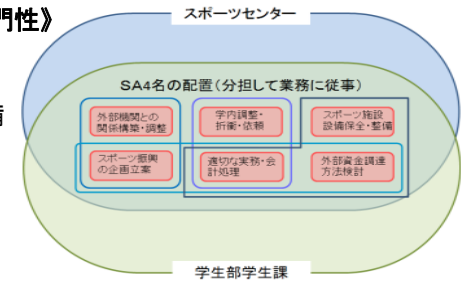
2017年4月、スポーツ・アドミニストレーター2名配置

クラブ強化支援事業、スポーツ奨学制度運用、
プロコーチ制度運用、スポーツクラブ武庫女地域
貢献事業に関する業務がスポーツセンターへ
移管・集中

2018年4月、スポーツ・アドミニストレーター**4名**配置

《スポーツ・アドミニストレーターの専門性》

- ① 外部機関との関係構築・調整
- ② 企画実施に伴う学内調整・折衝
- ③ スポーツ施設・設備等の保全・整備
- ④ スポーツ振興にむけた企画立案
- ⑤ 外部資金調達方法の検討
- ⑥ 法令・諸規則に則った適切な実務処理



(3) 大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

①学生アスリートのキャリア 形成支援事業

I 学生アスリートアワード表彰 制度の充実

- ・チーム表彰枠の追加
- ・表彰対象を低学年中心に

Ⅱ 自習支援体制の充実

- ・事前面談、取組課題設定
- ・チューター配置

Ⅲ長期遠征・長期欠席者の学修支援方法の確立

- ・WEBアプリを用いた学習
フォロー方法の検証
- ・タブレット貸出
- ・学生モニターへの調査

②大学スポーツを通じた地域貢献、活性化事業

I LAVYS Nationプロジェクト

大学スポーツを中心としたスポーツ・コミュニティ「LAVYS Nation」を形成する。



Ⅱ キッズスポーツパーク 武庫女プロジェクト

- ・大学施設における
多種目体験
(キッズスポーツ
パーク武庫女)
- ・体力測定会、個別
相談会
- ・中学進学時のクラブ
種目選択の助言
- ・トレーニング方法等
の助言

③スポーツ教育の推進事業 (応援文化定着促進)

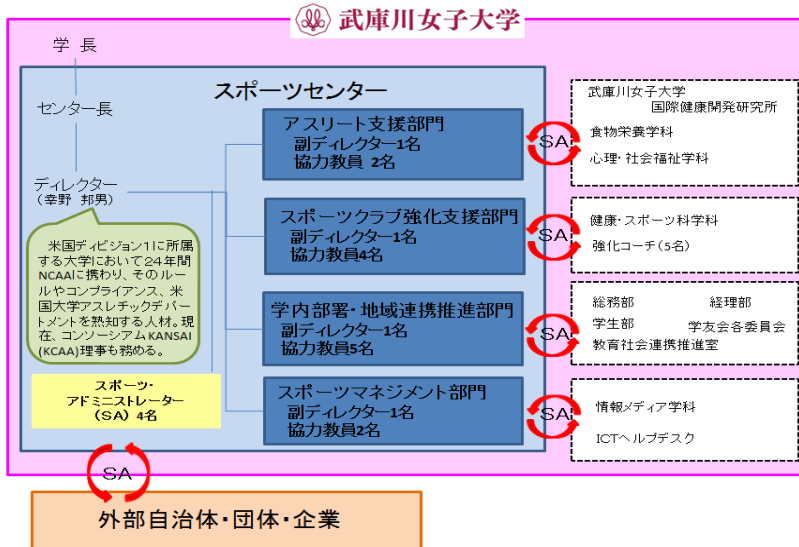
- ・ホームゲームの開催
- ・応援Tシャツデザインコンテストの実施

↓
一般学生の関心を高め、試合会場
への来場を促進する



大学スポーツ振興の推進(武庫川女子大学の取組)

(1) スポーツ分野の統括業務の実施



(2)「大学スポーツ・アドミニストレーター」の配置

2017年2月、スポーツセンター設置

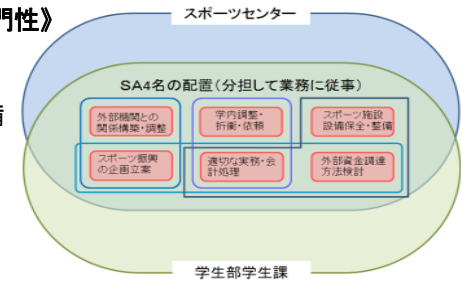
2017年4月、スポーツ・アドミニストレーター2名配置

クラブ強化支援事業、スポーツ奨学制度運用、
プロコーチ制度運用、スポーツクラブ武庫女地域
貢献事業に関する業務がスポーツセンターへ
移管・集中

2018年4月、スポーツ・アドミニストレーター**4名**配置

《スポーツ・アドミニストレーターの専門性》

- ① 外部機関との関係構築・調整
- ② 企画実施に伴う学内調整・折衝
- ③ スポーツ施設・設備等の保全・整備
- ④ スポーツ振興にむけた企画立案
- ⑤ 外部資金調達方法の検討
- ⑥ 法令・諸規則に則った適切な実務処理



(3) 大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

①学生アスリートのキャリア 形成支援事業

I 学生アスリートアワード表彰 制度の充実

- ・チーム表彰枠の追加
- ・表彰対象を低学年中心に

Ⅱ 自習支援体制の充実

- ・事前面談、取組課題設定
- ・チューター配置

Ⅲ長期遠征・長期欠席者の学修支援方法の確立

- ・WEBアプリを用いた学習
フォロー方法の検証
- ・タブレット貸出
- ・学生モニターへの調査

②大学スポーツを通じた地域貢献、活性化事業

I LAVYS Nationプロジェクト

大学スポーツを中心としたスポーツ・コミュニティ「LAVYS Nation」を形成する。



Ⅱ キッズスポーツパーク 武庫女プロジェクト

- ・大学施設における
多種目体験
(キッズスポーツ
パーク武庫女)
- ・体力測定会、個別
相談会
- ・中学進学時のクラブ
種目選択の助言
- ・トレーニング方法等
の助言

③スポーツ教育の推進事業 (応援文化定着促進)

- ・ホームゲームの開催
- ・応援Tシャツデザインコンテストの実施

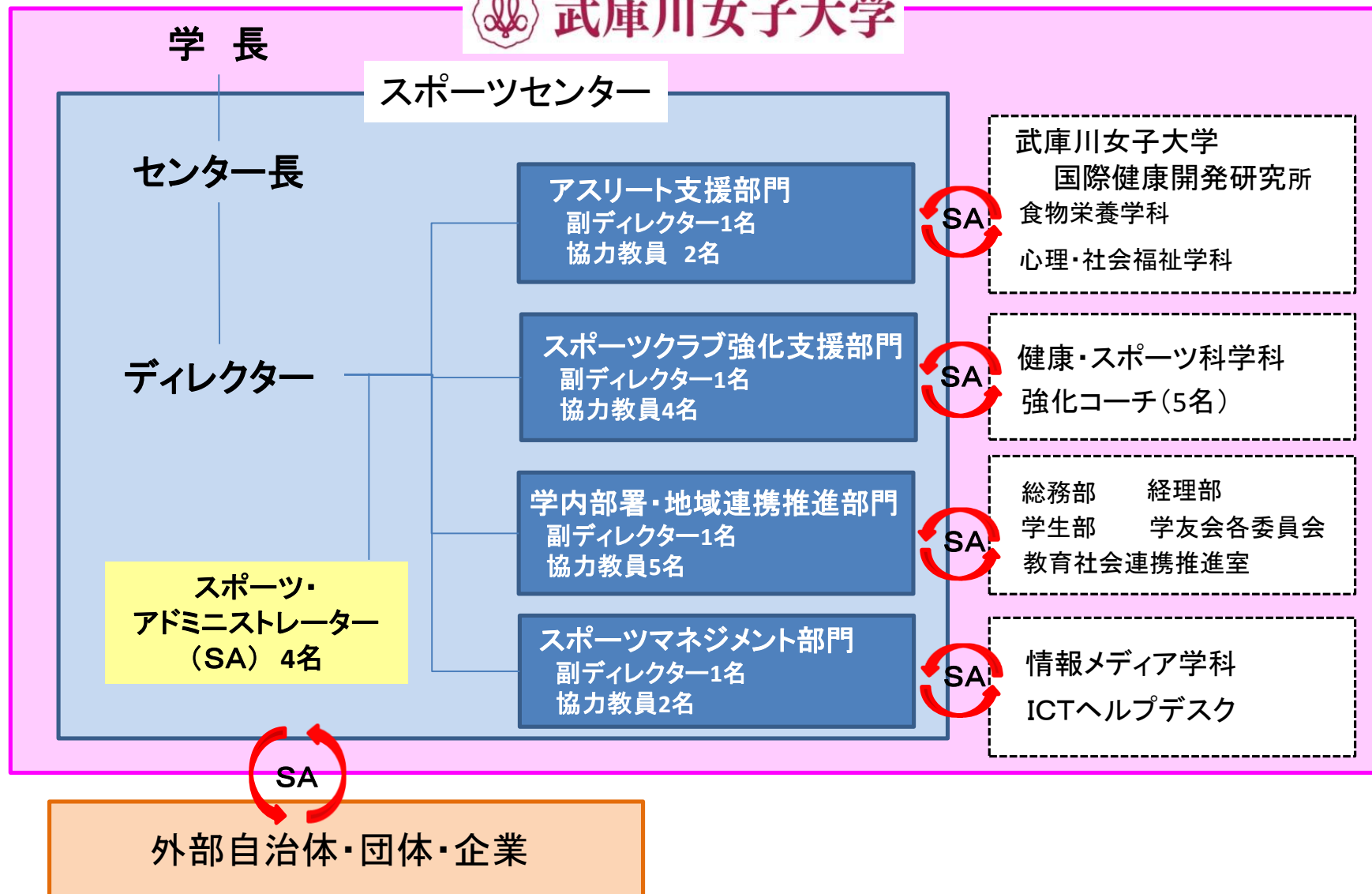
↓
一般学生の関心を高め、試合会場
への来場を促進する



スポーツセンターの組織について

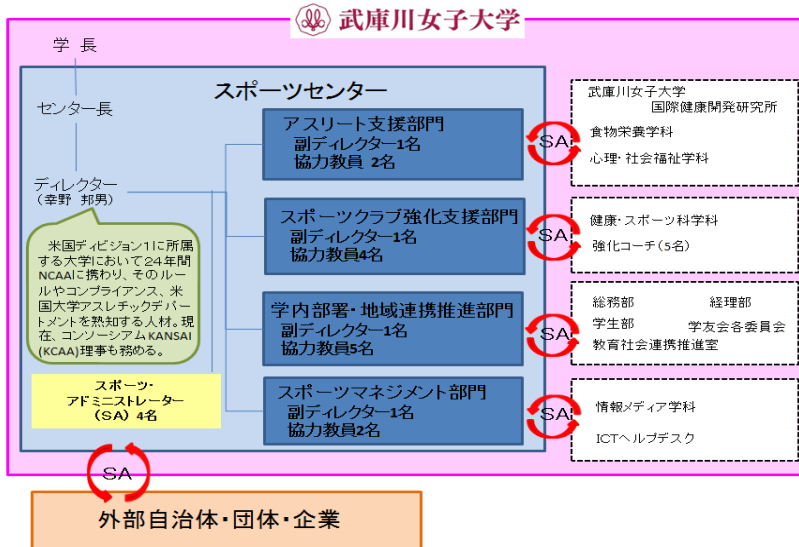


武庫川女子大学



大学スポーツ振興の推進(武庫川女子大学の取組)

(1) スポーツ分野の統括業務の実施



(2)「大学スポーツ・アドミニストレーター」の配置

2017年2月、スポーツセンター設置

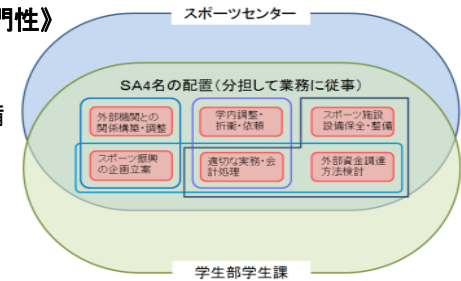
2017年4月、スポーツ・アドミニストレーター2名配置

クラブ強化支援事業、スポーツ奨学制度運用、
プロコーチ制度運用、スポーツクラブ武庫女地域
貢献事業に関する業務がスポーツセンターへ
移管・集中

2018年4月、スポーツ・アドミニストレーター**4名**配置

《スポーツ・アドミニストレーターの専門性》

- ① 外部機関との関係構築・調整
- ② 企画実施に伴う学内調整・折衝
- ③ スポーツ施設・設備等の保全・整備
- ④ スポーツ振興にむけた企画立案
- ⑤ 外部資金調達方法の検討
- ⑥ 法令・諸規則に則った適切な実務処理



(3) 大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

①学生アスリートのキャリア 形成支援事業

I 学生アスリートアワード表彰 制度の充実

- ・チーム表彰枠の追加
- ・表彰対象を低学年中心に

Ⅱ 自習支援体制の充実

- ・事前面談、取組課題設定
- ・チューター配置

Ⅲ長期遠征・長期欠席者の学修支援方法の確立

- ・WEBアプリを用いた学習
フォロー方法の検証
- ・タブレット貸出
- ・学生モニターへの調査

②大学スポーツを通じた地域貢献、活性化事業

I LAVYS Nationプロジェクト

大学スポーツを中心としたスポーツ・コミュニティ「LAVYS Nation」を形成する。



Ⅱ キッズスポーツパーク 武庫女プロジェクト

- ・大学施設における
多種目体験
(キッズスポーツ
パーク武庫女)
- ・体力測定会、個別
相談会
- ・中学進学時のクラブ
種目選択の助言
- ・トレーニング方法等
の助言

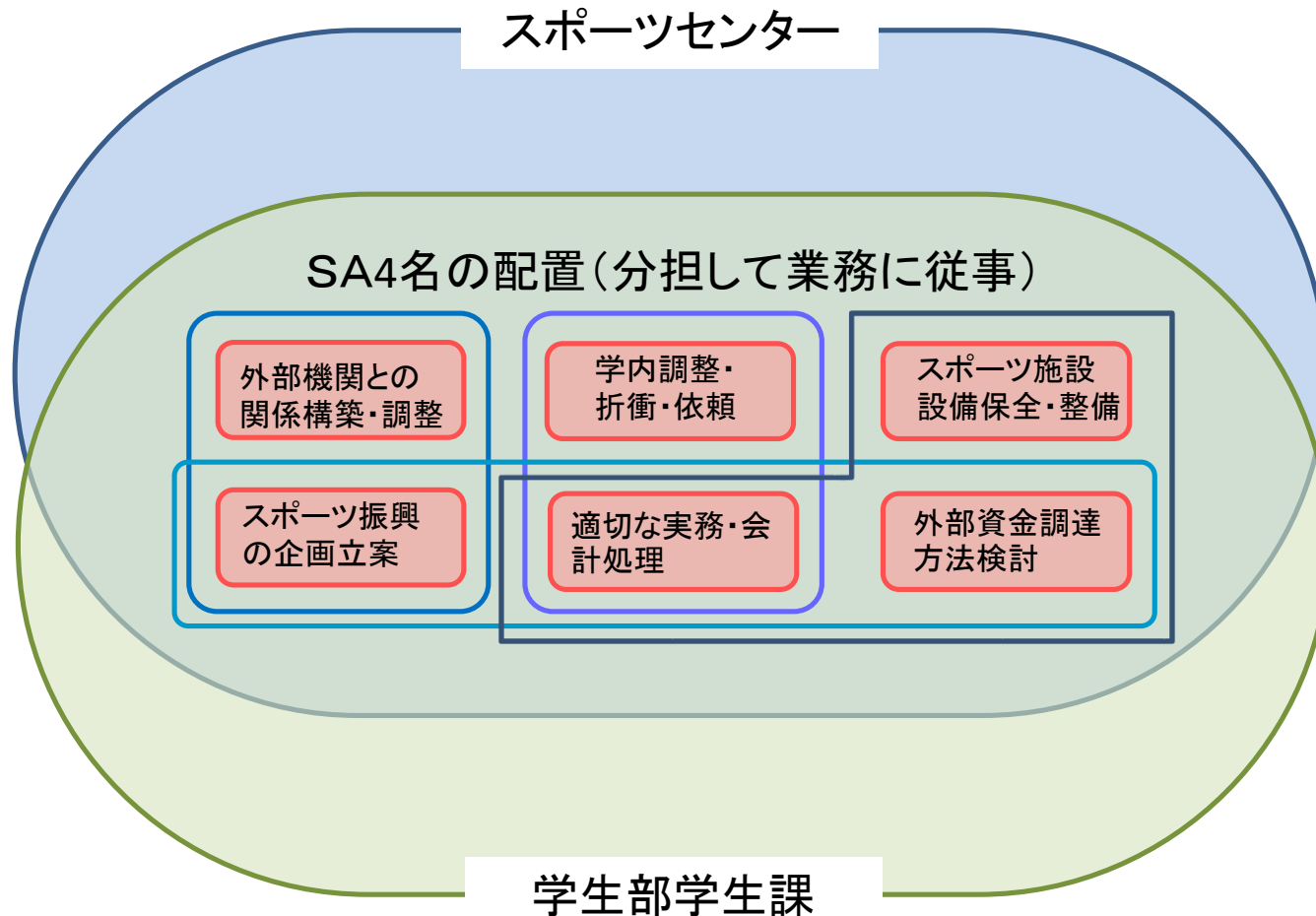
③スポーツ教育の推進事業 (応援文化定着促進)

- ・ホームゲームの開催
- ・応援Tシャツデザインコンテストの実施

↓
一般学生の関心を高め、試合会場
への来場を促進する

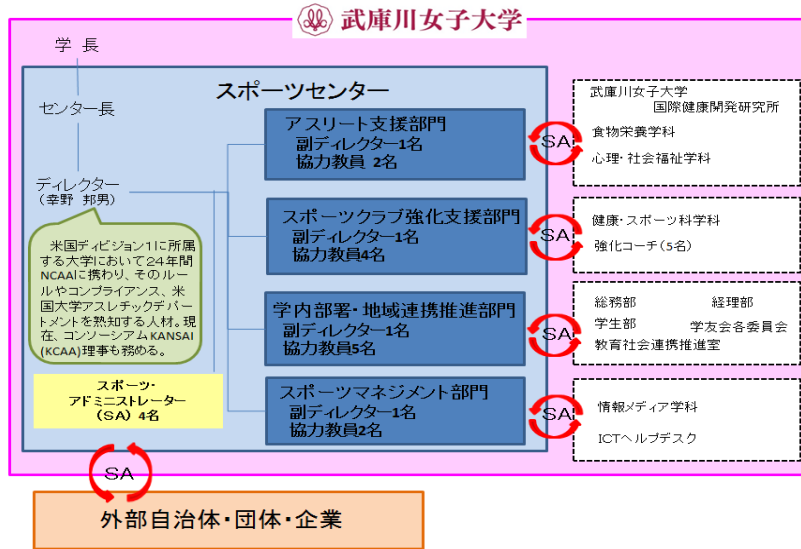


スポーツ・アドミニストレーターの業務



大学スポーツ振興の推進(武庫川女子大学の取組)

(1) スポーツ分野の統括業務の実施



(2)「大学スポーツ・アドミニストレーター」の配置

2017年2月、スポーツセンター設置

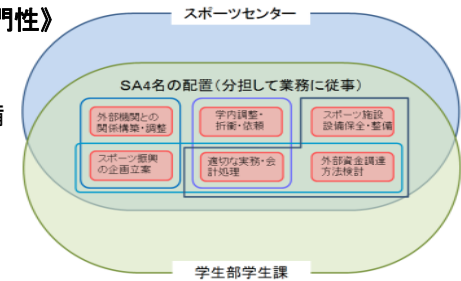
2017年4月、スポーツ・アドミニストレーター2名配置

クラブ強化支援事業、スポーツ奨学制度運用、
プロコーチ制度運用、スポーツクラブ武庫女地域
貢献事業に関する業務がスポーツセンターへ
移管・集中

2018年4月、スポーツ・アドミニストレーター4名配置

《スポーツ・アドミニストレーターの専門性》

- ① 外部機関との関係構築・調整
- ② 企画実施に伴う学内調整・折衝
- ③ スポーツ施設・設備等の保全・整備
- ④ スポーツ振興にむけた企画立案
- ⑤ 外部資金調達方法の検討
- ⑥ 法令・諸規則に則った適切な実務処理



(3) 大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

①学生アスリートのキャリア 形成支援事業

I 学生アスリートアワード表彰 制度の充実

- ・チーム表彰枠の追加
- ・表彰対象を低学年中心に

Ⅱ 自習支援体制の充実

- ・事前面談、取組課題設定
- ・チューター配置

Ⅲ長期遠征・長期欠席者の学修支援方法の確立

- ・WEBアプリを用いた学習
フォロー方法の検証
- ・タブレット貸出
- ・学生モニターへの調査

②大学スポーツを通じた地域貢献、活性化事業

I LAVYS Nationプロジェクト

大学スポーツを中心としたスポーツ・コミュニティ「LAVYS Nation」を形成する。



Ⅱ キッズスポーツパーク 武庫女プロジェクト

- ・大学施設における
多種目体験
(キッズスポーツ
パーク武庫女)
- ・体力測定会、個別
相談会
- ・中学進学時のクラブ
種目選択の助言
- ・トレーニング方法等
の助言

③スポーツ教育の推進事業 (応援文化定着促進)

- ・ホームゲームの開催
- ・応援Tシャツデザインコンテストの実施

↓
一般学生の関心を高め、試合会場
への来場を促進する



学生アスリートアワード表彰制度 の充実①

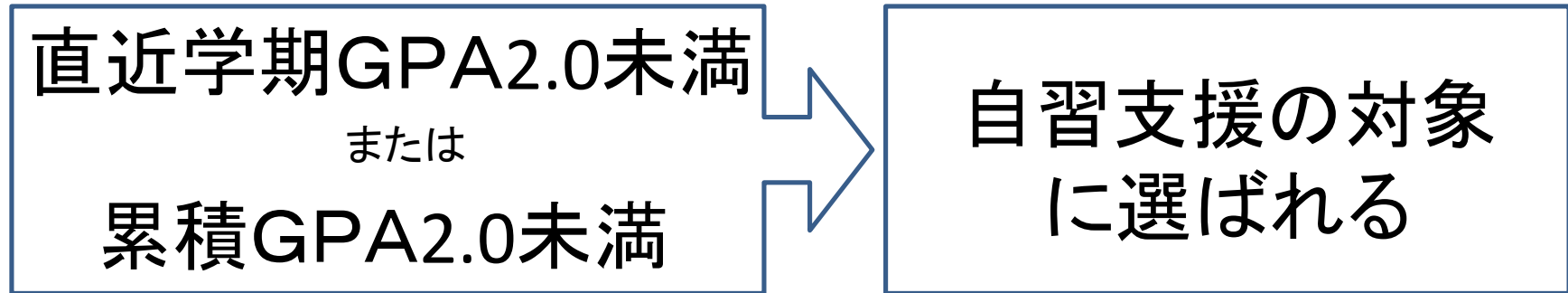
既存の学内表彰制度との整合性
(学生アスリートアワード表彰の位置付け)



学生アスリートアワード表彰制度 の充実②

	2017（平成29）年度		2018（平成30）年度(※本事業)
1 MVP	大学4年、短期大学部2年／ 累積GPA1位	⇒	(昨年度より変更なし)
2 Excellent	大学4年、短期大学部2年／当年度 GPA2位	⇒	廃止
	大学1～3年、短期大学部1年／当年度 GPA上位2位	⇒	大学1年／GPA上位4名 大学2年／GPA上位3名 大学3年／GPA上位2名 短期大学部1年／GPA上位2名
3 Team	団体当年度平均GPA／1位	⇒	団体平均GPA／1～3位
4 Best support	当年度GPA上位2位	⇒	GPA上位1位

自習支援体制の充実①



★サービスであって、ペナルティではない！！

★自習支援の内容

定期試験の1か月前から実施。

週2コマの空コマを自習時間として自ら設定。

成績優秀な仲間(バディ)と一緒に自習。

自習室には、院生チューターを配置。

自習支援体制の充実②

スポーツ奨学生（76名）を対象に、
該当学生を抽出【2018年度後期】



学生5名が支援対象となり、自習支援を実施

その結果・・・

クラブ名	学生	H30前期まで 累積GPA	H30前期 GPA		H30後期まで 累積GPA	H30後期 GPA
体操部	A	1.58	1.58	⇒	2.17	2.65
柔道部	B	1.85	1.85	⇒	2.22	2.57
柔道部	C	1.93	(2.05)	⇒	2.25	2.78
新体操部	D	(2.25)	1.44	⇒	2.21	2.06
バスケット ボール部	E	(2.59)	1.88	⇒	2.59	2.58

★5人全員が累積GPA・当学期GPAとも
2.0以上の基準をクリア！！

長期遠征・長期欠席学生アスリート の学修支援方法の確立

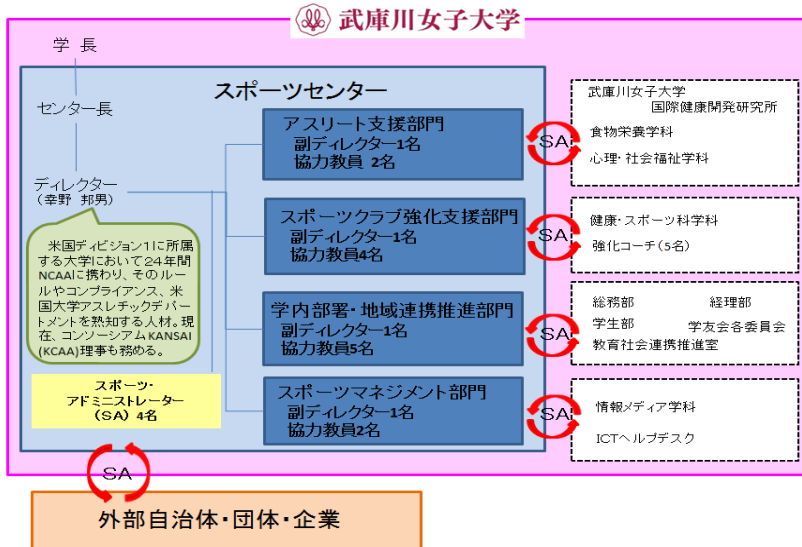
- Googleアプリ「classroom」を使用した授業 フォロー
の検討

- 検討方法

- (1) タブレットなどを持っていない学生がいること
も想定し、リースタブレットを学生に貸し出した。
- (2) アメリカへ研修に行くゼミの協力を得て、日本
から送られた授業動画を視聴し、課題について
レポートを提出する。

大学スポーツ振興の推進(武庫川女子大学の取組)

(1) スポーツ分野の統括業務の実施



(2)「大学スポーツ・アドミニストレーター」の配置

2017年2月、スポーツセンター設置

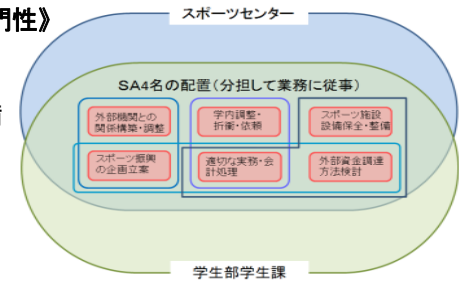
2017年4月、スポーツ・アドミニストレーター2名配置

クラブ強化支援事業、スポーツ奨学制度運用、
プロコーチ制度運用、スポーツクラブ武庫女地域
貢献事業に関する業務がスポーツセンターへ
移管・集中

2018年4月、スポーツ・アドミニストレーター**4名**配置

《スポーツ・アドミニストレーターの専門性》

- ① 外部機関との関係構築・調整
- ② 企画実施に伴う学内調整・折衝
- ③ スポーツ施設・設備等の保全・整備
- ④ スポーツ振興にむけた企画立案
- ⑤ 外部資金調達方法の検討
- ⑥ 法令・諸規則に則った適切な実務処理



(3) 大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

①学生アスリートのキャリア 形成支援事業

I 学生アスリートアワード表彰 制度の充実

- ・チーム表彰枠の追加
- ・表彰対象を低学年中心に

Ⅱ 自習支援体制の充実

- ・事前面談、取組課題設定
- ・チューター配置

Ⅲ長期遠征・長期欠席者の学修支援方法の確立

- ・WEBアプリを用いた学習
フォロー方法の検証
- ・タブレット貸出
- ・学生モニターへの調査

②大学スポーツを通じた地域貢献、活性化事業

I LAVYS Nationプロジェクト

大学スポーツを中心としたスポーツ・コミュニティ「LAVYS Nation」を形成する。



Ⅱ キッズスポーツパーク 武庫女プロジェクト

- ・大学施設における
多種目体験
(キッズスポーツ
パーク武庫女)
- ・体力測定会、個別
相談会
- ・中学進学時のクラブ
種目選択の助言
- ・トレーニング方法等
の助言

③スポーツ教育の推進事業 (応援文化定着促進)

- ・ホームゲームの開催
- ・応援Tシャツデザインコンテストの実施

↓
一般学生の関心を高め、試合会場
への来場を促進する



MUKOGAWA Women's University LAVYS Nation Project

[目的]

大学スポーツを中核に据えて
地域に好循環を創発させる！



会員ページの イメージ



Sajipan販売所&カフェ

〒663-8184 西宮市瑞穂町2丁目18-4
☎090-6325-3232 sajipan32@gmail.com
□月～土9:30～18:30 □日～夜
□西宮瑞穂駅より徒歩10分

ドリンク100円引き、又は500円以上お買い上げの方にラスクレプレゼント

鴻福門

〒663-8141 西宮市瑞穂町2-25-21
☎0798-45-4555 hokufukumon2009@yahoo.co.jp
□月～土9:00～15:00、17:00～22:00 □日不定休
□西宮瑞穂駅より徒歩10分

飲食代金10%OFF(ランチディナーとも)

ほっかほっか亭武庫川学院前店

〒663-8141 西宮市瑞穂町1-21-7
☎0798-48-9955
□月～土9:00～23:00 □日午後3時開
□西宮瑞穂駅より徒歩4分

500円以上のお弁当1つにつき30円引き

カーさうちだ

〒663-8184 西宮市瑞穂町1丁目21-16-105
☎090-8640-1791
□月～土11:00～22:00 □日
□西宮瑞穂駅より徒歩9分

会員登録の方をお待ちするまで、お一人様1,000円以上6ご食事

おだのうえん

〒663-8184 西宮市瑞穂町3-3-5
☎0798-44-3330
□月～日9:30～19:00 □日不定休
□西宮瑞穂駅より徒歩11分

飲み物20%OFF

串かつ まるまん

〒663-8184 西宮市瑞穂町3-4-10 ☎0798-41-1923
□火～金ランチ11:30～14:00、ディナー17:00～24:00
(10.23.30)、土日ディナー17:00～24:00 □日
□西宮瑞穂駅より徒歩9分

ランチワイド(ランチ1時～15時、ディナー16時～21時)コース1,000円(15時～コース1,500円)(※別途のスタッフ・内職の料あり)

RyuRyu 瑞穂店

〒663-8184 西宮市瑞穂町1-3-211エディターオー瑞穂ビル10
☎0798-41-2581 ryuryu.naraoka@gmail.com
□月～土11:00～21:30(10.21:00) □日不定休
□西宮瑞穂駅より徒歩5分

会員登録 飲食代より100円引き

華SAKU クリステリア店

〒663-8136 西宮市瑞穂町1-1-1 2F
☎0798-45-3594 hyanasaku@forbana.co.jp
□月～土10:00～14:00(14:50)、夜8:00～21:00(20:30)
□日～夜(瑞穂川女子大学のレジスターに上る)
□西宮瑞穂駅より徒歩7分

14:00～瑞穂川女子大学で、ミニソフトクリーム無料サービス



長野歯科医院

〒663-8184 西宮市瑞穂町4-13-22フロンテール長中子ビル2F
☎0798-40-0547
□月～水9:00～12:00、15:00～19:00/木～土9:00～12:00
□日～夜/ホー・ナ午後 □西宮瑞穂駅より徒歩10分

街のお花屋さん 瑞穂花壇

〒663-8184 西宮市瑞穂町4-14-10
☎0798-56-8887 narukadan@nara.biglobe.ne.jp
□月～土9:00～18:00 □日不定休
□西宮瑞穂駅より徒歩1分

会員登録(学生は学生証提示で学生は2,000円+税、一般会員は3,000円+税)に花材10%引き



LAVYS Nation とは

武庫川女子大学各種運動部(総称して「LAVYS」)を応援する会員(学生・保護者・教職員・卒業生・地域住民)及び加盟店(大学周辺の飲食店や小売店)を繋ぎ、学生アスリートとの三者間の好循環を生み出し、応援を通して、西宮・瑞穂地域の活性化を図るスポーツコミュニティです。

これまでになかった新しい形態で、夢や目標に向かって、邁進する学生アスリートをサポートする応援の輪を広げていくプロジェクトです。

アスリートをサポートする応援の輪



大学スポーツを中核に据えて地域に好循環を創発させる!

ログイン方法

武庫川女子大学スポーツセンターホームページにアクセスする
<https://mwusports.jp/>

LAVYS Nationの「ログインはこちら」をクリックする

ログインページでアカウントIDとパスワードを入力し
ログインボタンをクリックするとログインが完了する

■武庫川女子大学スポーツセンターホームページ ■ログインページ



ログインページ 加盟店一覧 マイページ 入会申込
会員登録以外の方で閲覧
会員登録の方はログイン
情報を入力してください
一時的に会員登録を
お申し込みください
(学校・会員登録は不要)

使用方法

■マイページ

会員登録Nowを閲覧
することが出来ます
加盟店一覧を表示
します
クーポン
加盟店サービスを
探ることができます
会員登録
会員登録を表示する
ことができます

武庫川女子大学 www.mwu.ac.jp MWU Sports Center

LAVYS Nation事務局
〒663-8558 兵庫県西宮市池間町6-46
TEL0798-45-8957(平日9時～17時まで受付対応いたします)

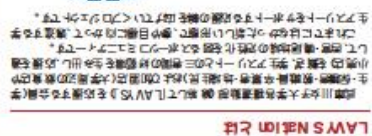
LAVYS Nation リーフレット

LAVYS Nation

平成30年度 スポーツ庁 参画事業



武庫川女子大学スポーツセンター



ロケイン方法 会員ページにログインする方法

- ① 印刷機と紙の間にインクを塗る。→インクを塗る。
- ② 印刷機はインクを塗る。→インクを塗る。
- ③ 印刷機はインクを塗る。→インクを塗る。
- ④ 印刷機はインクを塗る。→インクを塗る。
- ⑤ 印刷機はインクを塗る。→インクを塗る。
- ⑥ 印刷機はインクを塗る。→インクを塗る。
- ⑦ 印刷機はインクを塗る。→インクを塗る。
- ⑧ 印刷機はインクを塗る。→インクを塗る。
- ⑨ 印刷機はインクを塗る。→インクを塗る。
- ⑩ 印刷機はインクを塗る。→インクを塗る。

LAW'S NATION 24

LAW'S NATION 25

[illegible]

☆ 西宮市中原区東町3-30
ホテルズユニット中子園1F
0798-48-1111
m.smr@hotel-mzll.com
料率・飲み物他10%OFF
営業時間：平日 11:00～14:00（祝日要予約）
土・日・祭日 11:00～20:00（要予約）

0798-481111
ホテルニューグランド
予約センター
0798-481111
m.site@hotel-new.gr.jp
新島 新島 新島

15 餃子の王将 鴨居店
 西宮市田中町2丁目1-7
 0798-40-9960
 餃子代金より300円引き
 休 日・時 間 月～日 11:30～22:00(火、22:00) ※定休日 火

④ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑤ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑥ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑦ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑧ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑨ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑩ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑪ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑫ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑬ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑭ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑮ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑯ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑰ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑱ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑲ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ⑳ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉑ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉒ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉓ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉔ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉕ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉖ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉗ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉘ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉙ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉚ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉛ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉜ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉝ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉞ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㉟ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊱ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊲ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊳ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊴ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊵ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊶ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊷ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊸ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊹ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊺ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊻ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊼ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊽ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊾ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分
 ㊿ 花巻市 花巻駅西口徒歩1分

09月20日(土) 12:00~19:00 / 10月1日(土) 12:00~19:00
 入店時より10%OFF
 0798-55-5709
 岐阜市 田中町1-2-1 田中ビル103号

[illegible]

(一) 豐華國際醫院

● 地址：臺南市東區中子路2F
● 電話：0798-40-0547

● 門診時間：每日上午九時至下午五時
● 急診時間：每日下午六時至凌晨二時

● 備有：X光、B超、內科、外科、婦產科、兒科、牙科等。

[illegible]

① Sajipan 販売所 & カフ条

② 西宮市烏丸町2丁目18-4
③ 090-6325-3232
④ sajipan32@gmail.com

ドリンク100円引き、又は、500円以上
お買い上げの方にラスクプレゼント

※営業時間 月～土 9:30-18:30 ※休店日 日、祭

2 鴻福門

 西宮市嶋尾町2-25-21
0798-45-4555
koufukumon2009@yahoo.co.jp
飲食代金10%OFF
(ランチ・ディナーとも)

営業時間 11:30-15:00 17:00-22:00 休店日 不定休

3 ほっかほっか亭武庫川学院前店

西宮市龍岡町1-21-7

0798-48-9955

—

500円以上のお弁当1つにつき
30円引き

4 かーさうちだ



西宮市庵魔町1丁目21-16-105
090-8640-1791
—

会員登録提示の方を含めて3名まで、お一人様1,000円以上のご飲食費、お一人様100円引き

※営業時間 月～土 11:00～22:00 ※休曜日 日

5 おだのうえん

 西宮市鳴尾町3-3-5
 0798-44-3330
 数み物20%引き
 ※営業時間 月～日 8:00～19:00 ※休日 不定

6 串かつ まるまん

 ● 西宮市鳴尾町3-4-10
 ● 0798-41-1923
 ランチソフトドリンク1杯無料
 ディナー・おがませ串10串コース100円
 引き、15串コース150円引き(当日のスタン
 プカード 特典の併用可)
 ▶ 営業時間 火～金 ランチ 11:30-16:00 ディナー 17:00-24:00 (10:23:00)
 土・日・祝 12:00-24:00
 ▶ 駐車場 あり

7 RyuRyu 喰屋店

西宮市喰屋町1-3-21
エイチツーオー喰屋ビル102

0798-41-2981
ryuryu.naruo@gmail.com

会員登録 年会費100円引き

※営業時間 R+11:00-21:30 (L21:00) ※休店日 不定

8 華SAKU クリステリア店

西宮市芦屋町1-1-1 2F
 ☎ 0798-45-3594
u.hanasaku.jp/fortune.co.jp

14:00〜閉店時間まで、
 ミニソフトクリーム無料サービス

※営業時間 月～土 10:00～14:00（6.0-14.00）
 火～金 8:00～21:00（6.0-21.00） ※定休日 日・祝
 ※振替口座番号 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

[illegible]

LAVYS Nation

加盟店MAP

武庫川女子大学
スポーツセンター

Lavy

2019.3.●現在

加盟店MAP(加盟店に設置)

キッズスポーツパーク武庫女 プロジェクト①

- 西宮市内の小学生に、複数のスポーツを体験できる事業
- 西宮スポーツセンターと連携して実施
- 大学施設と市内体育館を連動させたプログラム
- 西宮市内3地区体育館(塩瀬・中央・北夙川)で開催を計画
 - ⇒中央39名・北夙川10名・塩瀬0名
- 11/25～2/16の期間実施

キッズスポーツパーク武庫女 プロジェクト②

地域会場

中央体育館

11/25 開講式

12/11 体操

(開脚前転、側転、跳箱)

1/8 クォーターテニス

2/12 バレーボール

北夙川体育館

11/25 開講式

12/14 体操

(開脚前転、側転、跳箱)

1/11 バスケットボール

2/8 バレーボール



武庫川女子大学 中央キャンパス体育館 2/16多種目体験会

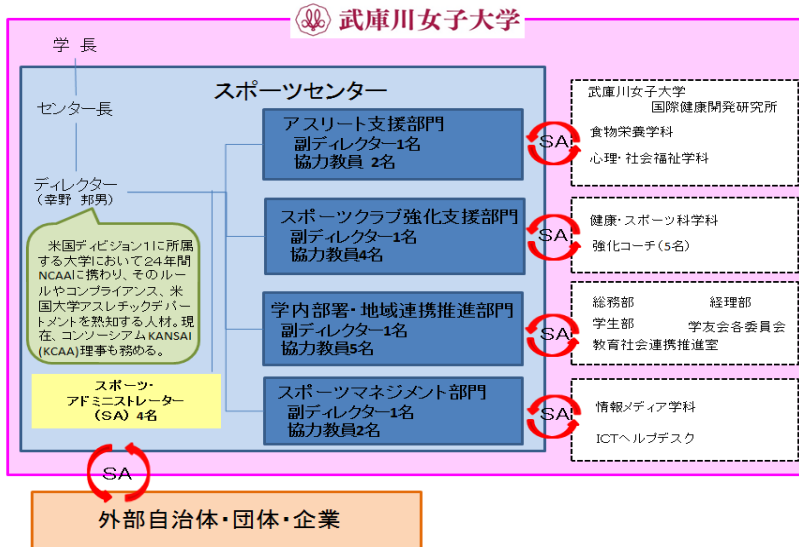
コーディネーショントレーニング(運動能力測定)

バスケットボール・ハンドボール・新体操・体操の4種目体験

閉講式

大学スポーツ振興の推進(武庫川女子大学の取組)

(1) スポーツ分野の統括業務の実施



(2)「大学スポーツ・アドミニストレーター」の配置

2017年2月、スポーツセンター設置

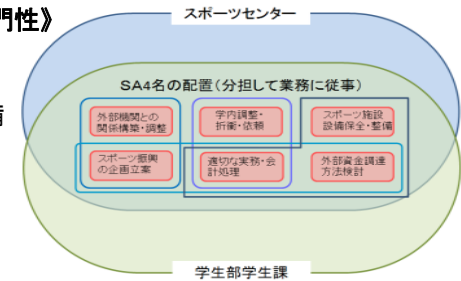
2017年4月、スポーツ・アドミニストレーター2名配置

クラブ強化支援事業、スポーツ奨学制度運用、
プロコーチ制度運用、スポーツクラブ武庫女地域
貢献事業に関する業務がスポーツセンターへ
移管・集中

2018年4月、スポーツ・アドミニストレーター**4名**配置

《スポーツ・アドミニストレーターの専門性》

- ① 外部機関との関係構築・調整
- ② 企画実施に伴う学内調整・折衝
- ③ スポーツ施設・設備等の保全・整備
- ④ スポーツ振興にむけた企画立案
- ⑤ 外部資金調達方法の検討
- ⑥ 法令・諸規則に則った適切な実務処理



(3) 大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

①学生アスリートのキャリア 形成支援事業

I 学生アスリートアワード表彰 制度の充実

- ・チーム表彰枠の追加
- ・表彰対象を低学年中心に

Ⅱ 自習支援体制の充実

- ・事前面談、取組課題設定
- ・チューター配置

Ⅲ長期遠征・長期欠席者の学修支援方法の確立

- ・WEBアプリを用いた学習
フォロー方法の検証
- ・タブレット貸出
- ・学生モニターへの調査

②大学スポーツを通じた地域貢献、活性化事業

I LAVYS Nationプロジェクト

大学スポーツを中心としたスポーツ・コミュニティ「LAVYS Nation」を形成する。



Ⅱ キッズスポーツパーク 武庫女プロジェクト

- ・大学施設における
多種目体験
(キッズスポーツ
パーク武庫女)
- ・体力測定会、個別
相談会
- ・中学進学時のクラブ
種目選択の助言
- ・トレーニング方法等
の助言

③スポーツ教育の推進事業 (応援文化定着促進)

- ・ホームゲームの開催
- ・応援Tシャツデザインコンテストの実施

↓
一般学生の関心を高め、試合会場
への来場を促進する



スポーツ教育の推進事業 (応援文化定着推進)①

11/19(月)18:00～20:30

関西大学とのバスケットボール親善試合を開催。
武庫川女子大学中央キャンパス 第1体育館4階



一般学生、教職員、地域
住民の来場促進が課題



- ・観客席の不足
- ・運動部学生以外の応援文化がない



そこで...

スポーツ教育の推進事業 (応援文化定着推進)②

●仮設観客席を設置

145席増設し、既存席200席と
合わせて345席用意。⇒約300人の来場者

●応援Tシャツ作成

デザインコンテストを開催
(一般学生の関心を引くため)
来場者にTシャツの配布

●学内外での広報活動

ポスター100枚、チラシ1,000枚
対戦校との協力体制
LAVYS Nation加盟店や
学外施設(公民館、市立体育館など)
へ掲示依頼

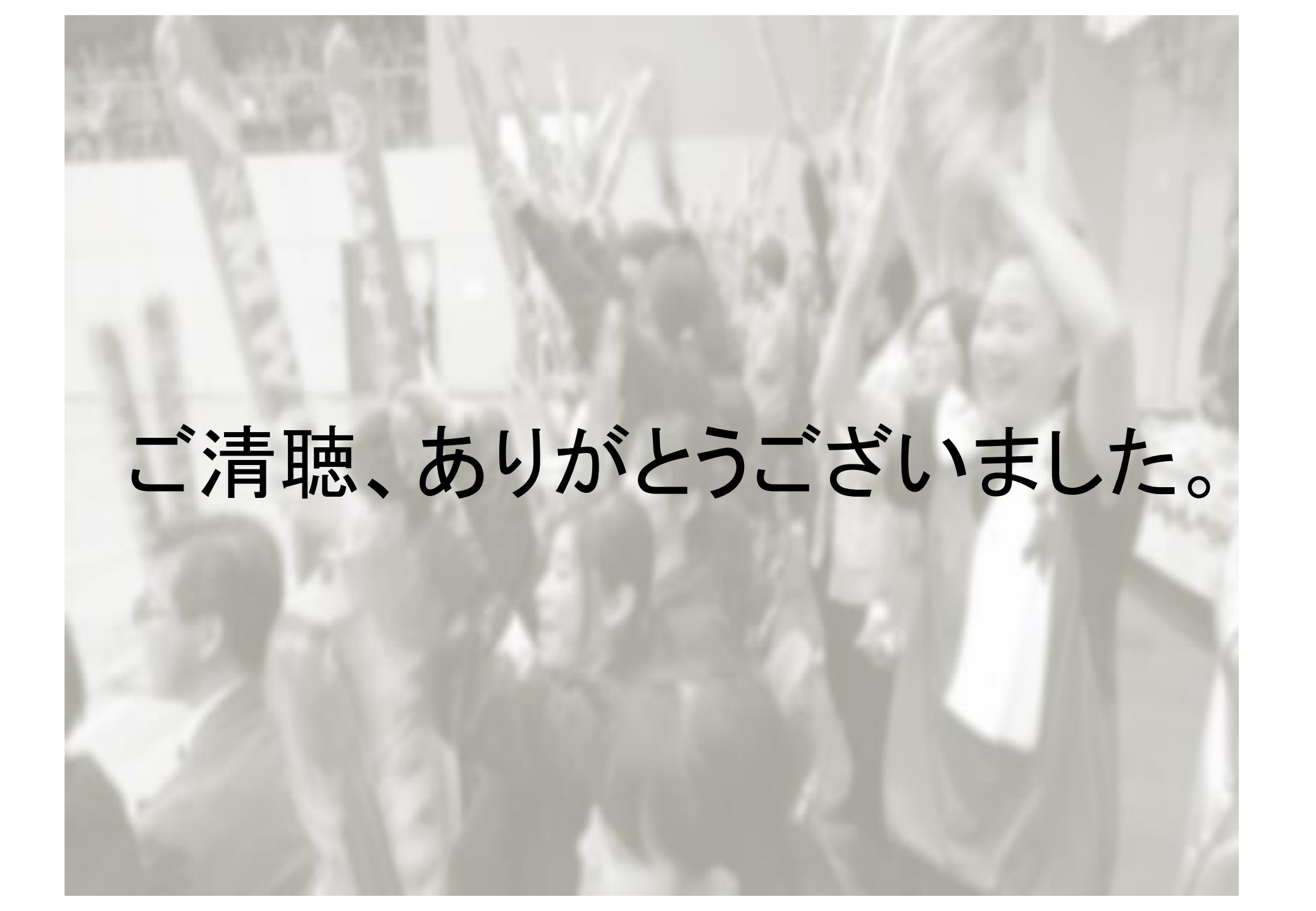


スポーツ教育の推進事業 (応援文化定着推進)③

12/3(月)
大阪体育大学との
バスケットボール親善試合
(於:大阪体育大学)



12/8(土)
タッチフットボール東西王座
決定戦(於:王子スタジアム)

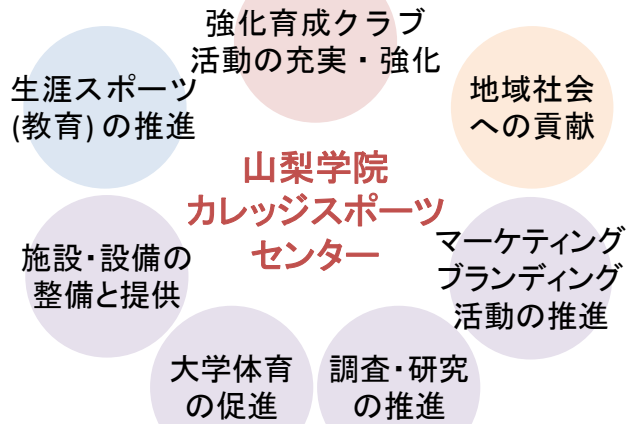


ご清聴、ありがとうございました。

8. 山梨学院大学

大学スポーツ振興の推進(山梨学院大学の取組)

【スポーツ分野の統括業務の実施・スポーツアドミニストレーターの再整備】 既存の『山梨学院アスレティック・デパートメント』へのシニアSA及びSAの設置と組織整備



山梨学院カレッジスポーツセンター (アスレティック・デパートメント)

学校法人山梨学院・理事会

センター長(アスレティック・ディレクター※): 事業の統括

事務長(シニアスポーツアドミニストレーター※): 事業企画・実施責任者

スポーツアドミニストレーター※: シニアスポーツアドミニストレーターの補佐

大学スポーツ振興特別委員会: スポーツアドミニストレーターと協働した事業推進
※

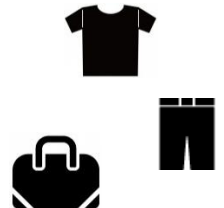
※設置または整備箇所

【大学スポーツにおける先進的モデル】

(1) 産学連携による本学カレッジスポーツのイメージアップ(ブランド企業との連携の模索)

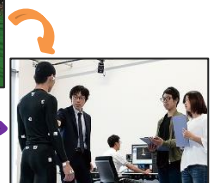
- ▶ 本学のシーズを活用した女性スポーツ選手向けの商品開発と市場開拓の検討
- ▶ 商品開発などへの本学学生の協働に向けた検討

若者(特に女子大学生)
に人気のブランド企業



(2) クラブ評価システムの構築(表彰制度創設の検討含む)

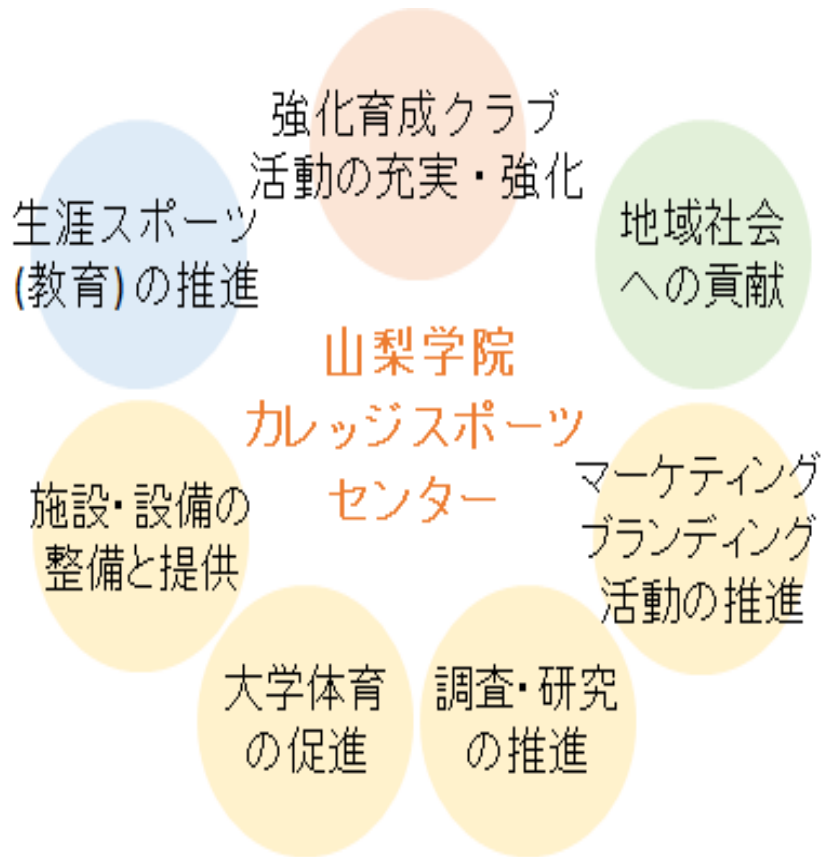
- ▶ 競技成績のみではなく、スポーツを通じた地域貢献活動や学習評価、キャリア形成などの取組み、会計の透明化など生涯スポーツ教育(普及)や地域貢献も加えた評価システムの構築、評価結果に基づく表彰制度の創設



(3) 官学連携による競技横断的事業(甲府市との包括的連携協定の有効活用)

- ▶ トライアルスポーツ教室: 本学指導者及び学生アスリートが指導・運営する複数競技の体験教室の検討
- ▶ アドバンススポーツクリニック: 競技志向のジュニアアスリートに対する科学的アプローチの導入に向けた検討

山梨学院カレッジスポーツセンターの概要と実績



「山梨学院カレッジスポーツセンター」とは

大学スポーツ振興の拠点として理事会直下の組織としてカレッジスポーツセンターを1977年に設立した。

《目標》

「学生スポーツ文化の創造」と「日本のスポーツへの貢献」を目標に学生の競技力の向上と人間性の涵養を基本理念に優秀な指導者の確保と競技環境の整備を推進し、学習面でのサポートにも力を注いだ。

《実績》

50名を越えるオリンピックの排出、その他日本代表として多くの国際大会に輩出。文部科学省からは「スポーツ功労団体表彰」を3度受章し、JOCから初代「トップアスリート賞」を受賞した。

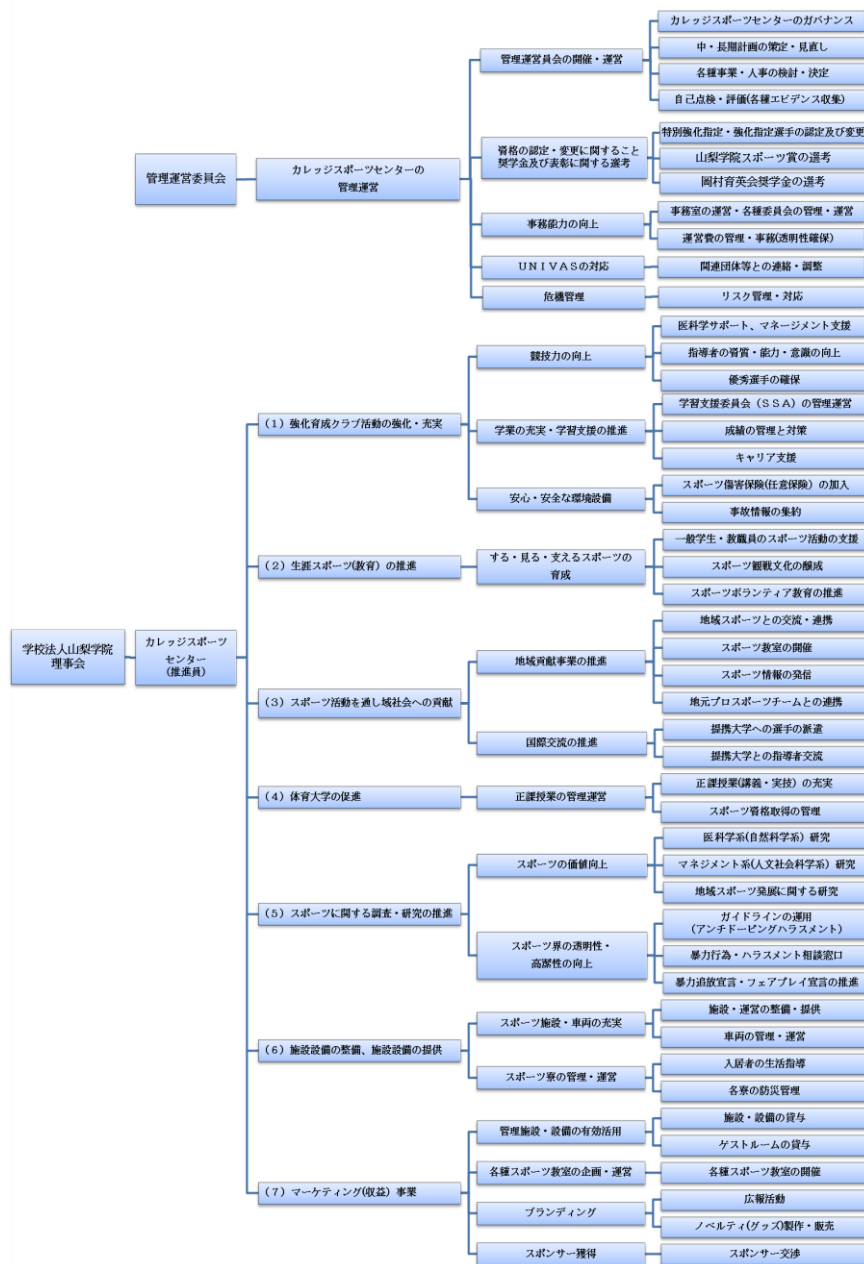
《組織体制》

この背景には、センターが理事会直下の組織として設立され、センター長(AD)をトップとする専属の教職員、指導者を推進員として、独立の組織としての活動を可能とした。



山梨学院大学
YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY

山梨学院カレッジスポーツセンター管理体制図



○ スポーツ分野の統括業務の実施状況について

1. 組織体制の整備状況

名称:カレッジスポーツセンター(アスレティック・デパートメント)

設立:1996年

組織：センター長1名（AD）

副センター長3名

事務長(SA)

推進員

事務員6名

強化育成クラブ:15競技(レスリング、スケート、ラグビー、陸上競技、ホッケー、柔道、水泳、硬式野球、テニス、バスケットボール、ソフトボール、サッカー、空手道、ゴルフ、バレーボール)

2、組織の管理体制

規程：カレッジスポーツセンター規程

カレッジスポーツセンター管理運営規程

その他諸規程

* スポーツ・アドミニストレーターの配置状況について

副センター長にNCAA知見者、事務員として教育行政知見者の配置

3、センターの事業

- (1)強化育成クラブ活動の充実強化
- (2)生涯スポーツ(教育)の推進
- (3)スポーツ活動を通じた地域社会への貢献
- (4)大学体育の促進
- (5)スポーツに関する調査研究の推進
- (6)施設設備の整備・施設設備の提供
- (7)マーケティング事業

※ 新たにUNIVAS の事業展開、本学の特色を鑑みて、本センターの事業内容に「危機管理」や「国際交流の推進」を追加。



○ 先進的モデル事業の実施状況について

1. 産学連携による本学カレッジスポーツのイメージアップ

若者、特に女子大学生に人気のあるブランド企業として株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドと包括的な連携協定を締結し、協定内容の1つとして「女性スポーツ選手向けの商品開発や市場開拓」に本学のSEEDSを活用することを盛り込みました。

具体的には「スポーツウーマン」から「スポーツレディー」への変身をキャッチフレーズに学生によるスポーツバッグ等の共同開発や市場開拓、販売促進のための戦略的な広報の媒体やその手法を検討題材として活動を勧めました。その際、学生が自ら問題を発見して解決していく能力を身につけることに本質を求めた課題解決型学習PBLの教育的要素を組み込みました。

また、本事業は本学のブランディング戦略の1つとして実施するものでもあるが、企業ブランドによるスポーツ関係者へのイメージアップだけでなく、受験生や地域社会等に対しても本学の先進的なイメージを発信し、企業にとっても社会的、地域的連携のアピールや新たな事業領域への進出も期待がもてると思われます。

PBL活動で提案・開発された商品

Ready Lady Gooo!
2020 Samantha Thavasa



強化育成クラブ目標管理シート

強化育成クラブ目標管理シート

<クラブ名>	部員数
記載者:	

カレッジスポーツセンター運営方針	・強化育成クラブの更なる充実・発展、国際競技力の貢献及び国際交流の充実
	・産・官・学連携の拡大と地域・社会貢献活動の取組みの推進
	・YGUスポーツブランドの創出・強化に向けた事業の推進
カレッジスポーツセンター目標	・強化育成クラブの強化とガバナンス及び健全運営(コンプライアンスの遵守、会計の透明化、優秀選手の確保)
	・スポーツをととした地域・社会貢献活動の強化・推進(スポーツ活動以外でもクラブとしての社会貢献活動)
	・スポーツブランド創出に向けアスリート学生の社会人基礎力の向上を図る(キャリア教育支援、学習支援等、アスリートの国際化)

基本項目	基本項目を可能な限り詳細に記載してください。クラブ目標は、主要な大会を中心に記載してください。(各項目200字程度)		
指導理念			
指導方針			
クラブ目標			
中期計画			
年間計画	主要な大会の目標 <目標>	主要な大会の結果 <結果・自己評価>	達成度(%)
地域・社会貢献 (スポーツを通じた活動、その他の活動)	<目標・計画>	<自己評価>	
会計管理・報告 (強化費以外の管理方法・使途)	<目標・計画>	<自己評価>	3
優秀選手確保	<基本方針>	<自己評価>	
	<次年度の計画>	<次年度入学予定>	
指導体制・指導能力の向上 (自己研鑽・専門能力の向上)	<目標・計画>	<自己評価>	
国際化への取り組み (国際貢献・国際交流)	<目標・計画>	<自己評価>	
課題及び改善点 (新たな取組み等)	<課題>	<改善点>	
総合評価	<総合評価>		

2. クラブ評価システムの検討と表彰制度創設の設立

《評価システム》

新たな生涯スポーツ教育・普及や地域貢献を加えた大学スポーツ振興へと発展させていくため、各ラブの評価システムを検討した。

特にスポーツを通じた地域貢献活動や学習評価、キャリア形成などの取組みや財政・会計の透明化等、大学スポーツ界に求められる様々な観点からの評価が可能となるシステム構築を目指しました。

《表彰制度》

表彰制度については、試験的に評価システムを運用して、現在その効果測定の結果を検証し研鑽を積んでいます。

各クラブが検討を重ねた予算計画、事業計画、報告書等を提出することで、コンプライアンスの遵守やマネジメント能力の向上等の効果も期待しています。

【参考】目標管理シートの作成の視点・構成7要素

- ◇ スポーツ基本法
- ◇ 第2期スポーツ基本計画
- ◇ やまなしスポーツ推進プログラム
- ◇ 大学スポーツの振興に関する検討会議最終とりまとめ
- ◇ 日本版NCAA 設立準備委員会会議資料等
- ◇ センター運営に関する諸規程・事業内容等
- ◇ 建学の精神、設置の趣旨、教育目標、ディプロマ・ポリシー等

提携事業のロゴマークとスポーツ活動の様子



3. 官学連携による競技横断的事業の実現に取組み

○甲府市との包括的連携協定を締結し、甲府市内在住の児童・生徒やその保護者等を対象として複数競技の「スポーツ教室を開催」した。

○参加者への意識調査によりニーズ等を把握し、当該事業の拡大や「トライアルスポーツ」のような競技横断的な収益事業の可能性も将来的視野に入れ検討した。

○スポーツに接する機会創設から競技志向のジュニアアスリート向けに、高度な技術指導に加え、本学スポーツ科学部と連携して科学的アプローチを取り入れた「アドバンススポーツクリニック」を検討している。

○実績としては、陸上、テニス、水泳、ホッケー、ラグビーなど個人・団体競技を問わず需要に応じた開催を実現しています。

○協定に基づき、公共広報誌や市役所の大型ビジョンを活用して各クラブの試合日程や「スポーツ教室等イベントの広報」がなされたり、本学ではスクールウェアに「こうふ開府500年記念事業」のロゴマークを入れるなど地域との一体感、地域活性化につながる情報発信や雰囲気醸成に相互に連携して努めています。

○ おわりに

過年度スポーツ庁委託事業「大学横断的かつ競技横断的事業統括組織(日本版NCAA)創設事業」の採択を得たことを機に、本学「カレッジスポーツ振興」40年の歩みとスポーツ振興の在り方を検証する良い機会となりました。

センターがこれまで培った歴史と成果を尊重しつつ、未来を見据え、昨今の急速に進む国際化への対応や大学スポーツ界を取り巻く社会情勢や期待といったものを踏まえ、スポーツの担う新たな役割や価値の創出にチャレンジし続けて参りたいと思います。



山梨学院大学
YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY

ご清聴ありがとうございました

パネルディスカッション

登壇者ご紹介

壇上に向かって左から

一般社団法人大学スポーツ協会 専務理事 池田 敦司 様

鹿屋体育大学 准教授 兼 スポーツアドミニストレーター
萩原 悟一 様

大阪体育大学スポーツ局 統括ディレクター 浦久保 和哉 様

青山学院大学学生支援部 スポーツ・アドミニストレーター
長谷川 恒平 様

コーディネーター

スポーツ庁参事官(地域振興担当) 増井 国光

青山学院大学 The Ivy Green Match開催

【開催の目的】

大学生が最初にコミュニティを認識し、自らの帰属意識を高めるのは入学時であり、この時期に大学スポーツを応援する（周囲と同じブランドを身に付け、周囲と同じチームを自らが大きな声で声援する）ことで、帰属意識を醸成させることができる。

新入生の大学スポーツ応援コンテンツを「The Ivy Green Match（カラーリングゲーム）」と定義し、特に一般学生が健康増進のためにスポーツをする機会やスポーツを応援する機会を設けることにより、スポーツを大学のコミュニティ活動として興味を喚起し、健康で人間関係の豊かな大学生活の実現に貢献することを目的とする。

青山学院大学 The Ivy Green Match開催

【開催の経緯】

青山学院大学と株式会社電通とのスポーツ分野における教育研究に関する包括協定の締結
(2018年6月29日)

【目的】

「みるスポーツ」及び「ささえるスポーツ」に関する教育研究、スポーツを通じた国際交流・地域貢献・地域活性化等、スポーツ文化の振興を実現することを目的として、相互に協力、提携、交流し、スポーツの発展にともに貢献する。

・ 実施事業

- (1) 学生等が自らの大学のスポーツ活動等を応援する行動分析に関する事業
- (2) 大学スポーツがサステイナブル（持続可能）に発展する組織の在り方に関する事業
- (3) 地元自治体との関係強化にスポーツが果たす役割に関する事業
- (4) 大学スポーツが大学ブランディングに果たす役割に関する事業
- (5) スポーツを支える人材育成
- (6) スポーツを通じた国際交流
- (7) その他の方法による大学スポーツ振興に対する寄与

The Ivy Green Matchの分類

アクティベーション（活性化）に関して
スポーツ支援課と電通の役割の考え方
※他にもあると思いますが、単純化した説明です。



The Ivy Green Match開催概要

【開催概要】

I. 大会名称： 「The Ivy Green Match」

II. 開催日程

4月2日（火） 【青学大バレー女子 VS 立教大学戦（@相模原C）】

開場15：30 試合17:30～19:30予定

（化学・生命科学科を除く新入生が参加可能）

4月4日（木） 【青学大バスケ男子 VS 明治大学戦（@青山C）】

開場16：00 試合18:40～20:40予定

III. 集客見込み（新入生）

2日（相模原）理工・社会情報・地球社会・コミュ 約1200名

4日（青山）文・教育・経・法・営・国・総合 約3100名

The Ivy Green Match開催概要

IV. 企画内容

- ・ Bリーグの試合を手掛けているイベント制作会社による演出・MCによる進行
- ・ 前日に開催されたサンロッカーズ渋谷の試合の座席配置をそのまま残して試合をする
- ・ ビブス（グリーン）・ハリセンを配布し、青学カラーを着用することにより一体感をもって大学スポーツを応援するという文化が根ざすことを目的とする
- ・ ハリセンにはカレッジソングを印刷し、皆でカレッジソングを歌唱できるようにする
- ・ （株）電通との「スポーツ分野における教育研究に関する包括協定」に基づき、「学生が自らの大学を応援する」文化を醸成するプログラムの研究・開発を行っており、本イベントはその研究の一環であることから、研究推進課による大学への帰属意識の変化や態度変容等について調査を行う。

■ 応援団、吹奏楽バトントワリング部によるスポーツ応援・カレッジソング斉唱練習

The Ivy Green Match開催

スポーツ観戦イベント開催

The Ivy Green Match

青山キャンパス所属新入生対象

※学部のオリエンテーション等、学部・学科行事と重なっている場合は
終了次第参加してください。



入場
無料

日程 2019年 4月4日 (木)
時間 16:00開場 18:40試合開始
会場 青山学院記念館 (大学体育館)
参加者 青山キャンパス所属新入生
(希望者は相模原キャンパス所属新入生や在学生も可)

試合内容

VS 青山学院大学バスケットボール部 (男子)
明治大学バスケットボール部 (男子)

お問い合わせ：青山学院大学学生生活部スポーツ支援課

TEL 03-3409-9393

住所 〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

URL <http://sports.aoyama.ac.jp/>



The Ivy Green Match



The Ivy Green Match



The Ivy Green Match開催



アンケート調査結果

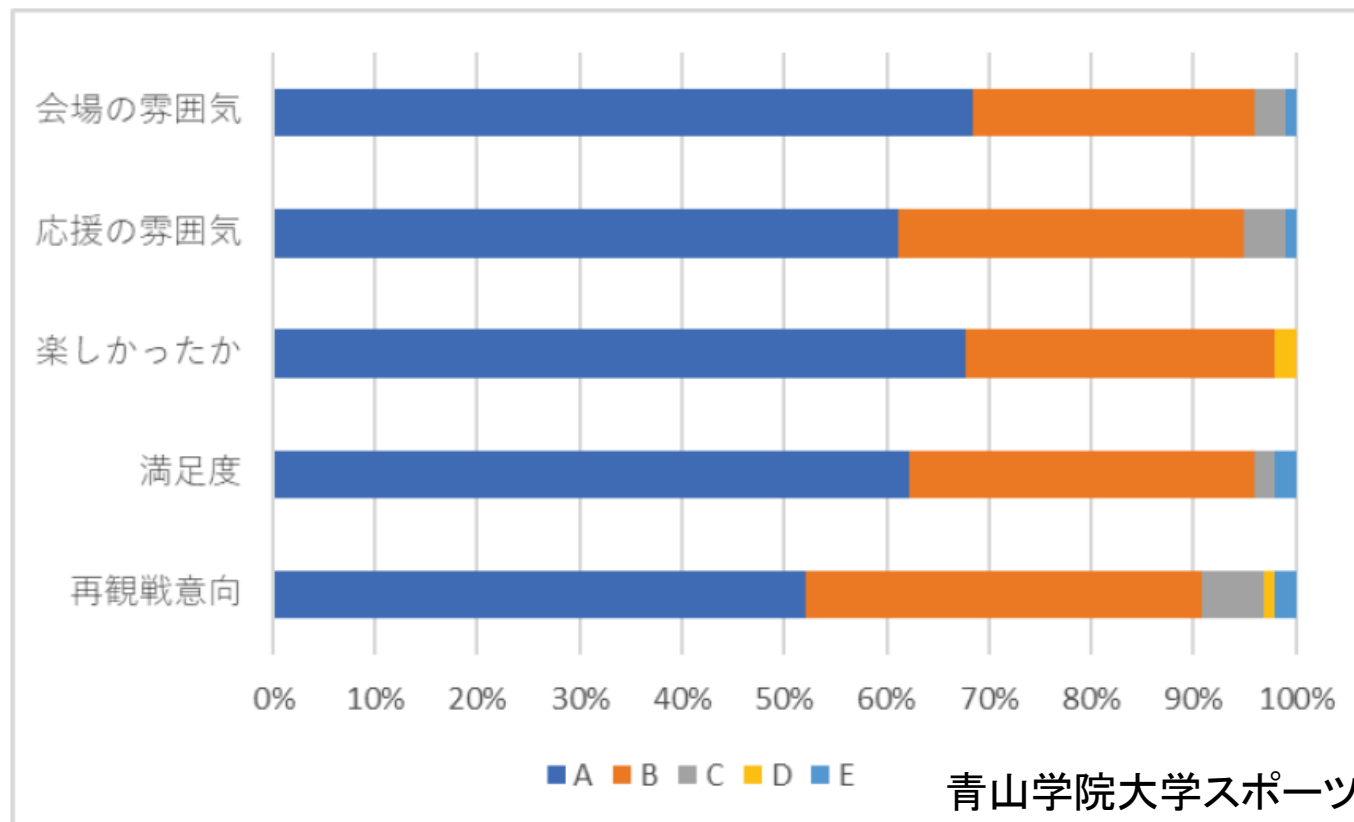
調査概要

- 観戦者調査
 - The Ivy Green Matchの観戦の感想
 - 大学スポーツの観戦経験
 - 大学への帰属意識
 - 個人属性
 - 大学入試形態を含む
- 回答者数
 - 4月2日が65件, 4月4日が114件
 - 有効回答はそれぞれ37件と61件, 合計98件
 - 同一学籍番号による複数の回答や最後まで回答されていないもの, 後日回答されているもの等を除外
 - 新入生向け調査のため, 1年生のみの回答を有効とした

アンケート調査結果

感想等の集計結果

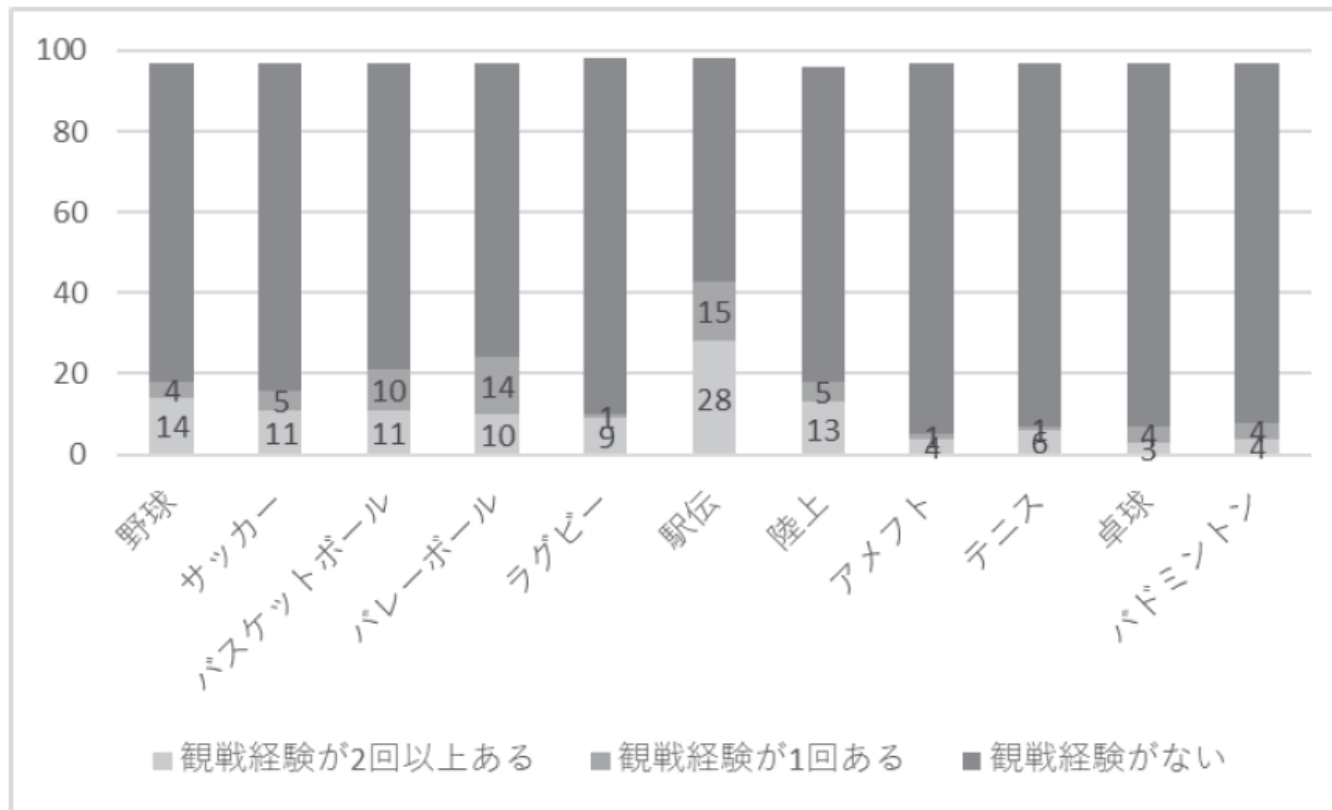
- 。会場の雰囲気、応援の雰囲気、観戦が楽しかったか、観戦の満足度、再観戦意向について5件法で調査
 - 。グラフでは上位からA, B, C, D, Eの順で表す



アンケート調査結果

大学スポーツの観戦経験

- 各大学スポーツの観戦経験を「2回以上」「1回」「ない」で調査
 - 生観戦に限っていないのでTV観戦を含む



アンケート調査結果

集計結果のまとめ

- 感想等の集計
 - どの質問においても、上位2件の回答が圧倒的であった
 - 再観戦意向に関しては最上位の回答が50%台であり、1割程度「どちらでもない」「そう思わない」「全くそう思わない」の回答があった
 - 大学スポーツの観戦を増やすためには、楽しかった・満足した→再観戦意向につなげることが重要
- 大学スポーツの観戦経験
 - 駅伝が最も観戦経験がある
 - どのスポーツも一定数は学生が観戦している
 - 観戦する理由の調査は必要

今後の課題

- ・ イベント企画・運営学生の組織化
今回は体育会学生本部が協力
- ・ ボランティア学生の確保
応援物品の配布、案内誘導、入場チェック等
- ・ 応援学生への案内
ガイダンスの一環としての位置づけ
- ・ 持続可能なイベントにするための検討が必要

次回

11月2日、3日（青山祭期間中）

関東大学バスケットボールリーグ戦（公式戦）

「The Ivy Green Match（CE-1類）として実施」



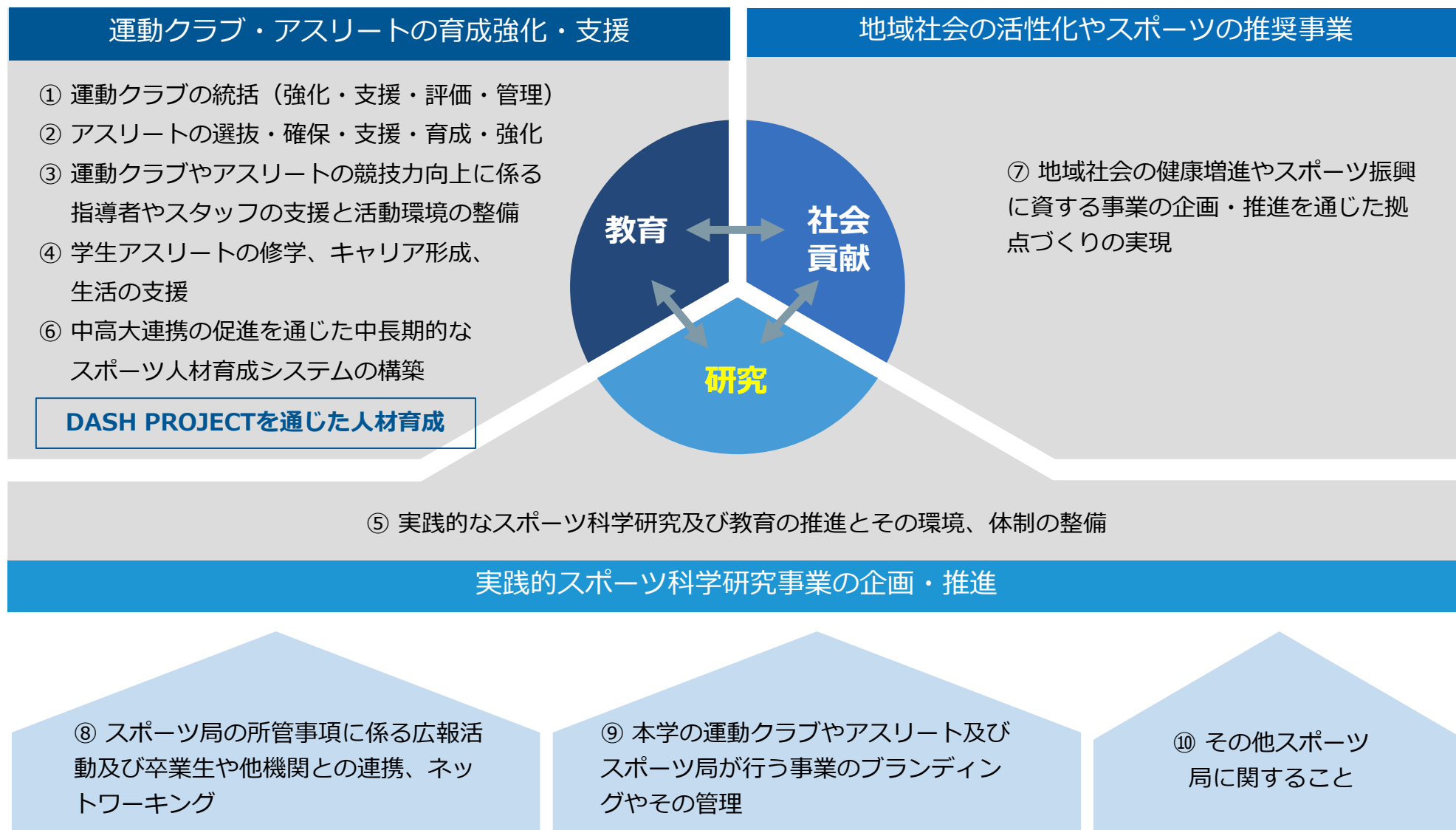
大阪体育大学 スポーツ局の 取り組みと課題と展望

2019年10月24日

大阪体育大学 スポーツ局

統括ディレクター 浦久保 和哉

スポーツ局の10の主要活動における相互関係



スポーツ局の課題：実践研究推進のエコシステムの確立

(1) 【ヒト】

専門実務人材の育成と登用とその体制整備

- ①学部及び大学院を活用した専門人材の育成（学内インターンシップ）
- ②専門職（コーチ、サポートスタッフ、研究員など）の持続的な登用
- ③登用人材と教員・職員との体制及び指揮命令系統の整理（機能組織の整備と職務と権限の精査）

(2) 【モノ】 実践研究推進のための施設

・設備の開発及び実装とプログラム化 (ラボからフィールドへ)

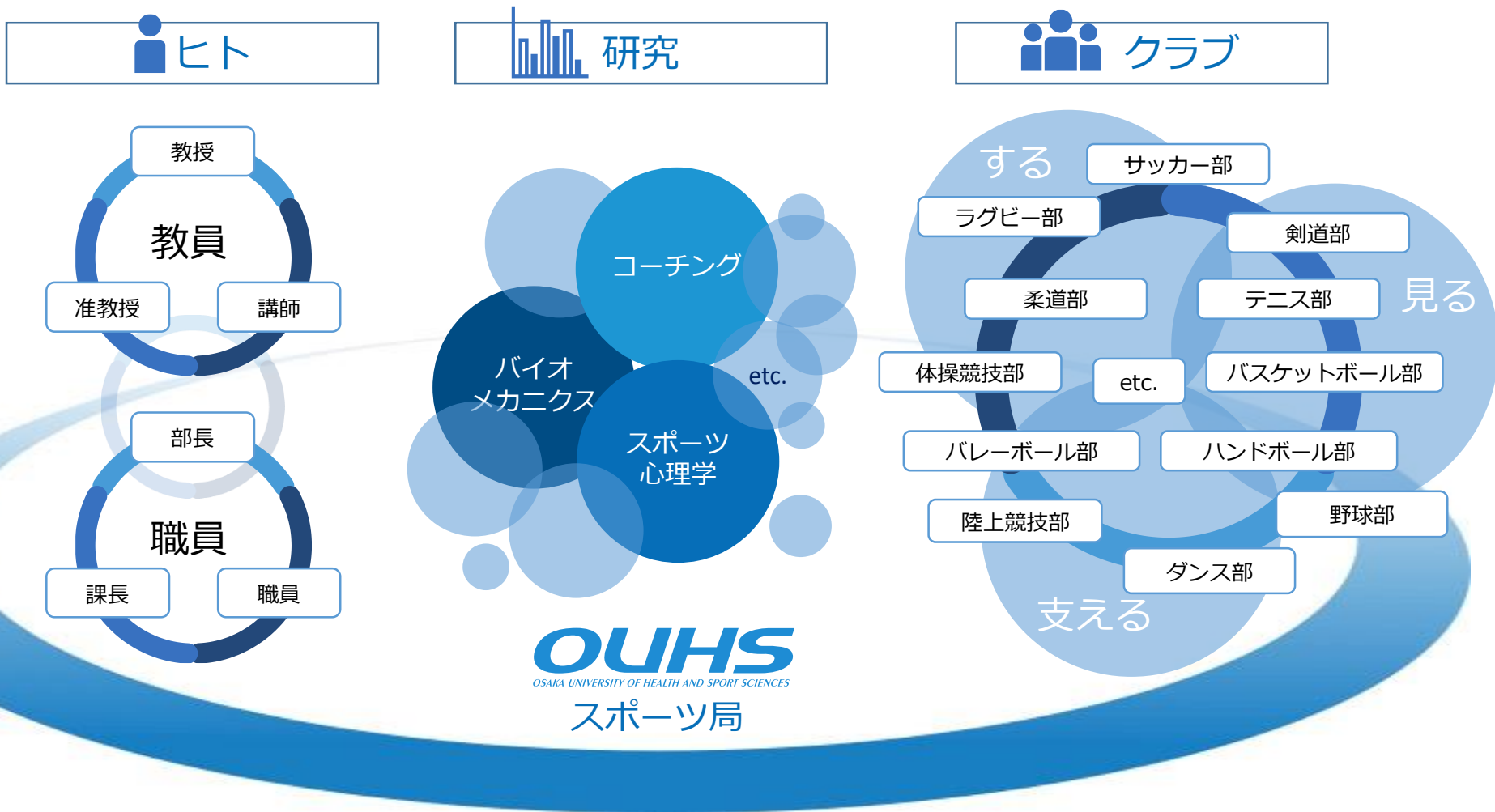
- ①パフォーマンス・データの測定収集と可視化
- ②①の分析・評価方法の共有と確立（現場との協働）
- ③③の検証結果をふまえた介入プログラムの開発

(3) 【カネ】 財源の確保

- ①大学の「研究力」と「教育力」への還元のための全学的プロジェクト研究としての位置付け
- ②実践研究プロジェクトの可視化と明瞭性の担保による外部資金の獲得の推進
- ③プロジェクトの成果のサービス化や事業化によるマネタイズ

大学における縦割りの課題とスポーツ局の役割

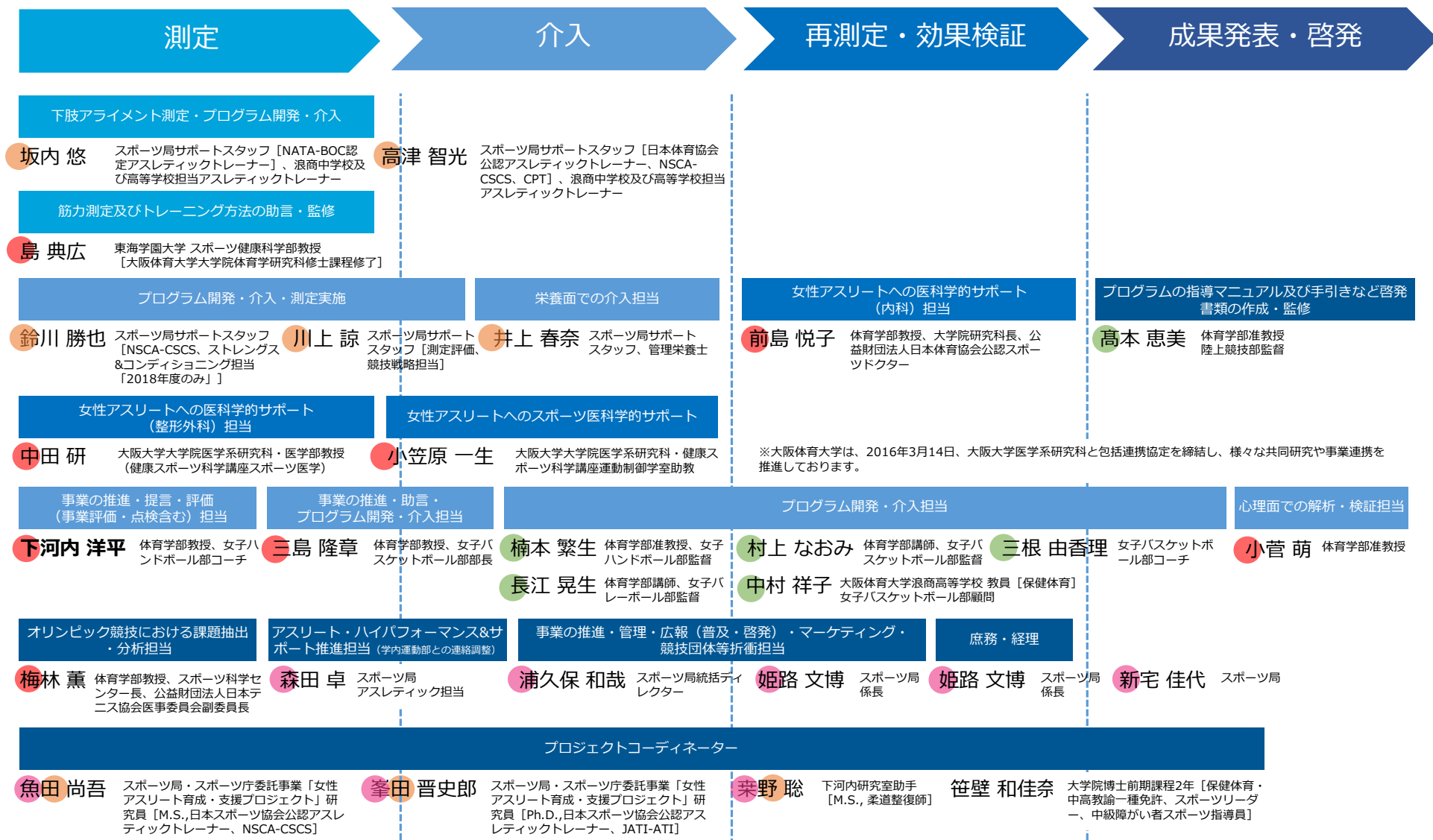
(下記の個別の名称は多数あり、イメージとしての例示であり、全てを網羅しているわけではありません。)



縦割り体制をつなぐスポーツ局の役割の実例

女性アスリートのパフォーマンス向上とスポーツ傷害予防の両立を目指したトレーニングプログラムの開発と普及・啓発（責任者：下河内洋平）

【凡例】 ●：研究者 ●：監督・コーチ ●：サポートスタッフ ●：マネジメントスタッフ



「縦割り打破」の本学の施策

教育



2019 大阪体育大学 アスリートハンドブック

学習支援室
ピアチューター募
のお知らせ

「ピアチューター」って何？
ピアチューターとは、先輩から後輩へ学習支援を行うことです。ピアチューターは、先輩から後輩へ学習支援を行うことで、先輩の学習成果を後輩に伝えることができます。また、先輩の学習成果を後輩に伝えることで、先輩の学習成果を後輩に伝えることができます。

具体的には何をやるの？
具体的には、先輩から後輩へ学習支援を行うことです。ピアチューターは、先輩から後輩へ学習支援を行うことで、先輩の学習成果を後輩に伝えることができます。また、先輩の学習成果を後輩に伝えることで、先輩の学習成果を後輩に伝えることができます。

ピアチューターになるメリット
ピアチューターになるメリットは、先輩から後輩へ学習支援を行うことです。ピアチューターは、先輩から後輩へ学習支援を行うことで、先輩の学習成果を後輩に伝えることができます。また、先輩の学習成果を後輩に伝えることで、先輩の学習成果を後輩に伝えることができます。

【募集要項】
募集期間： 2019年10月25日～11月10日（月～金）
募集場所： 各41号室を募集
募集内容： 学習に関する個別指導 ※定期的な研修があります
給 与： 毎月1,200円（交通費は実費は発生しません）
募集人数： 7名程度
応募資格： 3年生以上～大学院生
応募締切： 2019年10月25日（金）（応募は遅くともこの日まで）

【申込先】 fukuda.sotaro@ouhs.ac.jp（学習支援室 福田）
興味のある方は気軽にDASH学習支援室（担当：福田）までお問い合わせください。

学生アスリートハンドブック 学業成績管理＆フォローアップ 指導者協議会&セミナー

社会貢献

- 和歌山県ゴールデンキッズトレーニング合宿（2016～18年度）
- 男女バスケットボール：フレンドリーマッチ「大阪体育大学対武庫川女子大学」（2018年12月3日）
- 男女硬式テニス部：国際テニス連盟公認『富士薬品セイムスウィメンズカップ in 大阪体育大学』（2019年2月25日～3月3日）



ゴールデンキッズトレーニング合宿



フレンドリーマッチ

研究

- (1) スポーツ庁委託事業：「スポーツキャリアサポート戦略」における「コーチとしてのキャリア形成支援プログラム」
- (2) スポーツ庁委託事業：女性アスリートの 戦略的強化に向けた調査研究
 - ①女性アスリートに対する心理サポート実践プログラムの開発
 - ②女性アスリートのパフォーマンス向上とスポーツ傷害予防の両立を目指したトレーニングプログラムの開発と普及・啓発
- (3) 文部科学省Society 5.0 研究拠点支援事業（H30～R4年度）「ライフデザイン・イノベーション研究拠点(大阪大学) グランドチャレンジ研究」：健康・スポーツPLR（Personal Life Records）プラットフォーム創設プロジェクト
- (4) スポーツ庁委託事業：運動部活動改革プラン

OBOGとのネットワーキングとデジタルを活用した広報・PRでの取り組み

大阪体育大学の卒業生とのネットワーク



上原浩治氏
98年卒・31期
元読売ジャイアンツ・元メジャーリーガー



瀬川智広氏
1992年卒 25期
東芝ブレイブルーパス監督



大村武則氏
1988年卒 21期
15人制日本代表 総務（公財）日本ラグビーフットボール協会、
2010年～同代表チームのメンバー



黒田剛氏
1992年卒 25期
青森山田高校サッカー部監督



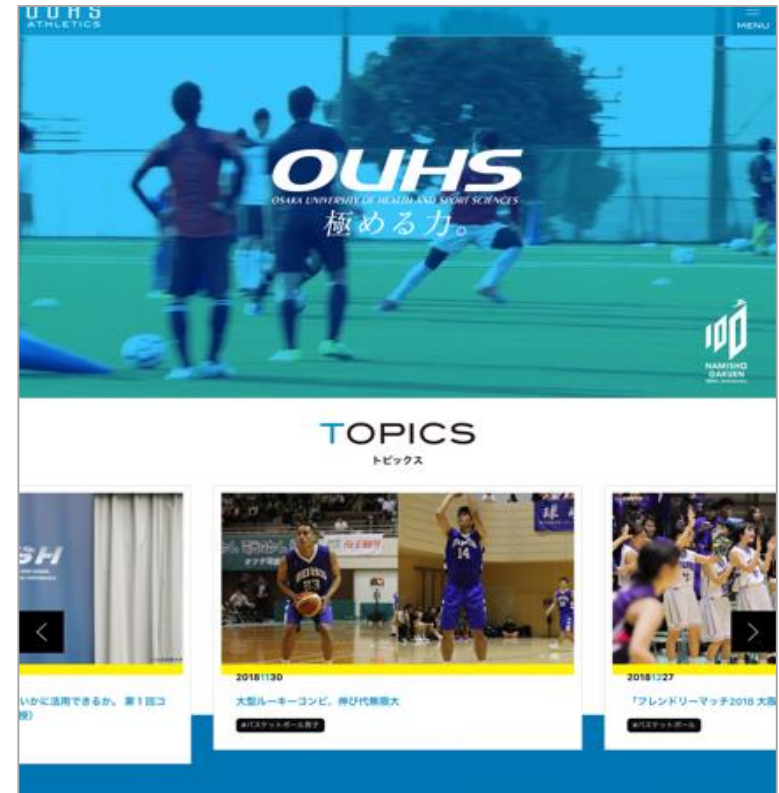
山村輝治氏
1978年卒 11期
株式会社ダスキン 代表取締役社長



望月美佐緒氏
1983年卒、16期生
株式会社ルネサンスルネサンス
常務執行役員

大阪体育大学スポーツ局公式サイト

| OUHS ATHLETICS <https://ouhs-athletics.jp>



【大阪体育大学スポーツ局公式サイトの特徴】

- 本学運動クラブの最新情報（試合情報／結果／ニュース等）を、各クラブサイトと連動させ即時に提供。
- 部員自身による情報の更新が可能。更新された情報はスポーツ局本サイトへ即時反映。
- 各クラブ公式サイトデザインを統一し、ブランディングを強化。
- 所属する選手、スタッフ、指導者のプロフィールを掲載。部のモチベーション強化やファンの獲得へつなげる。
- OB/OGを紹介。学外関係者との関係構築に貢献。

大学スポーツ、地方創生、地域活性化モデル

KANOYAモデル

地域活性化戦略の概要

日本初！地方自治体×大学スポーツ

Blue Winds



左：鹿屋体育大学松下学長、右：鹿屋市中西市長

October
2019

スポーツアドミニストレーター

鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会学系
准教授兼スポーツアドミニストレーター

萩原 悟一 (Hagiwara Goichi)

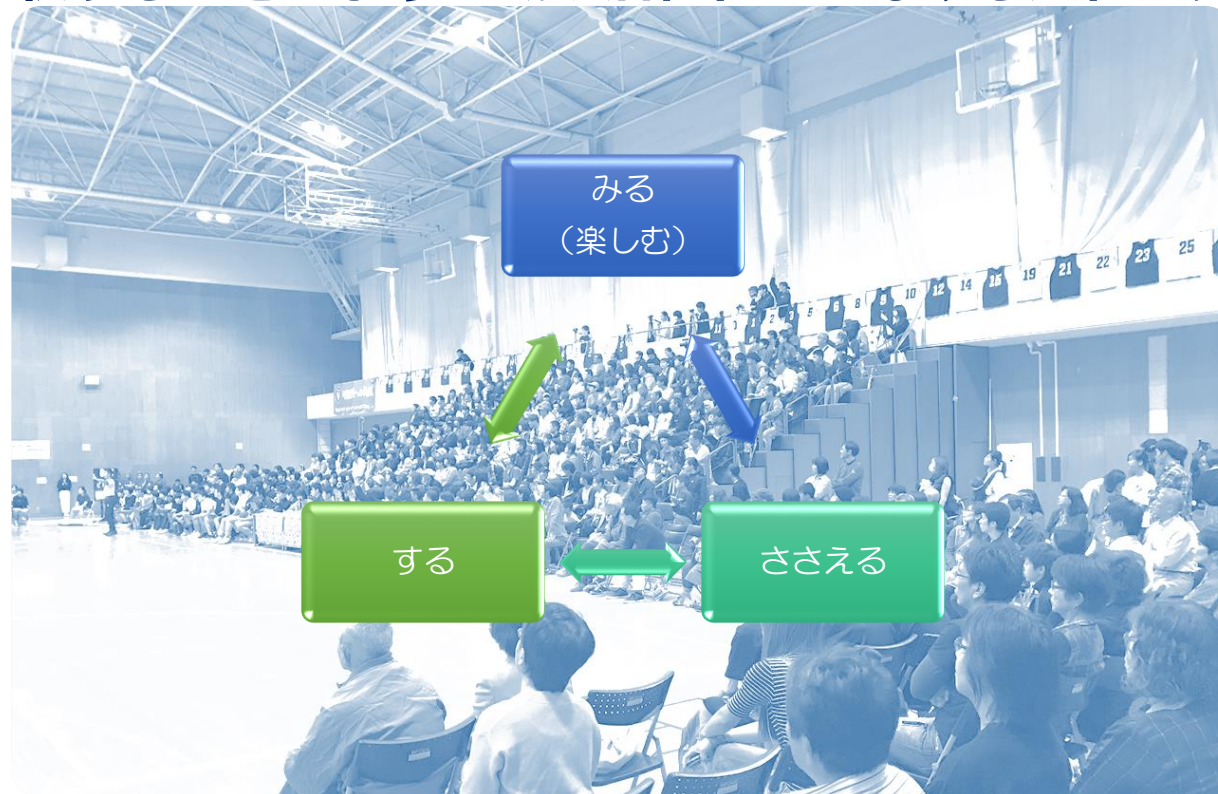
略歴

米国アーカンソー州立大学大学院修了 (M.S. Sports Administration), 九州工業大学大学院生命体工学研究科博士後期課程短縮修了. 博士 (学術). 日本経済大学経済学部講師を経て2016年4月より鹿屋体育大学体育学部講師を経て現職. スポーツマネジメント, スポーツ心理学に関する研究を専門とする. 2018年スポーツ庁長官賞受賞. 主な著書は「スポーツビジネス概論3 (カレッジスポーツビジネス) 叢文社」.



KANOYAモデルとは？

地域に根ざした地方国立大学として、地域のみなさんへ大学スポーツを通じた地域サービスやスポーツを「する・みる・ささえる」体験を提供することにより地域の活性化につなげる文化モデル



～スポーツで未来を拓く自分を創る～
鹿屋体育大学
NATIONAL INSTITUTE of FITNESS and SPORTS in KANOYA

スポーツアドミニストレーション室（SA室）の設置

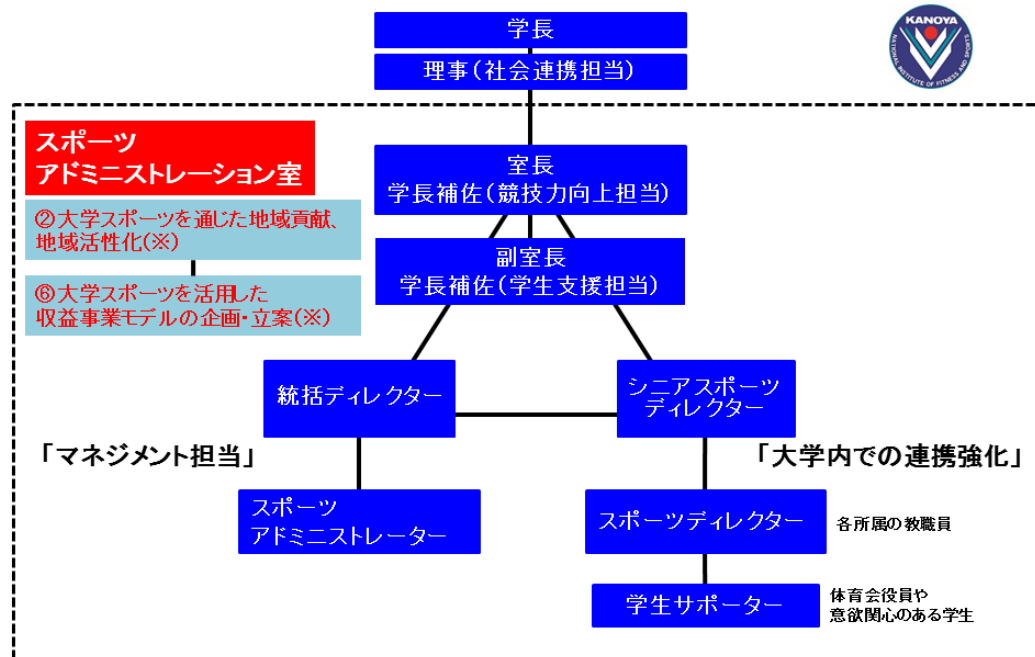
◆「KANOYAモデル」3本柱事業

- ①官学連携でスポーツと健康のコミュニティブランド（Blue Winds）を浸透
- ②地域住民も参加、観戦する「カレッジスポーツデイ」※を開催
- ③市民参加型イベントの開催（例：エンジョイスports、スポーツタウンミーティング）

※カレッジスポーツデイ

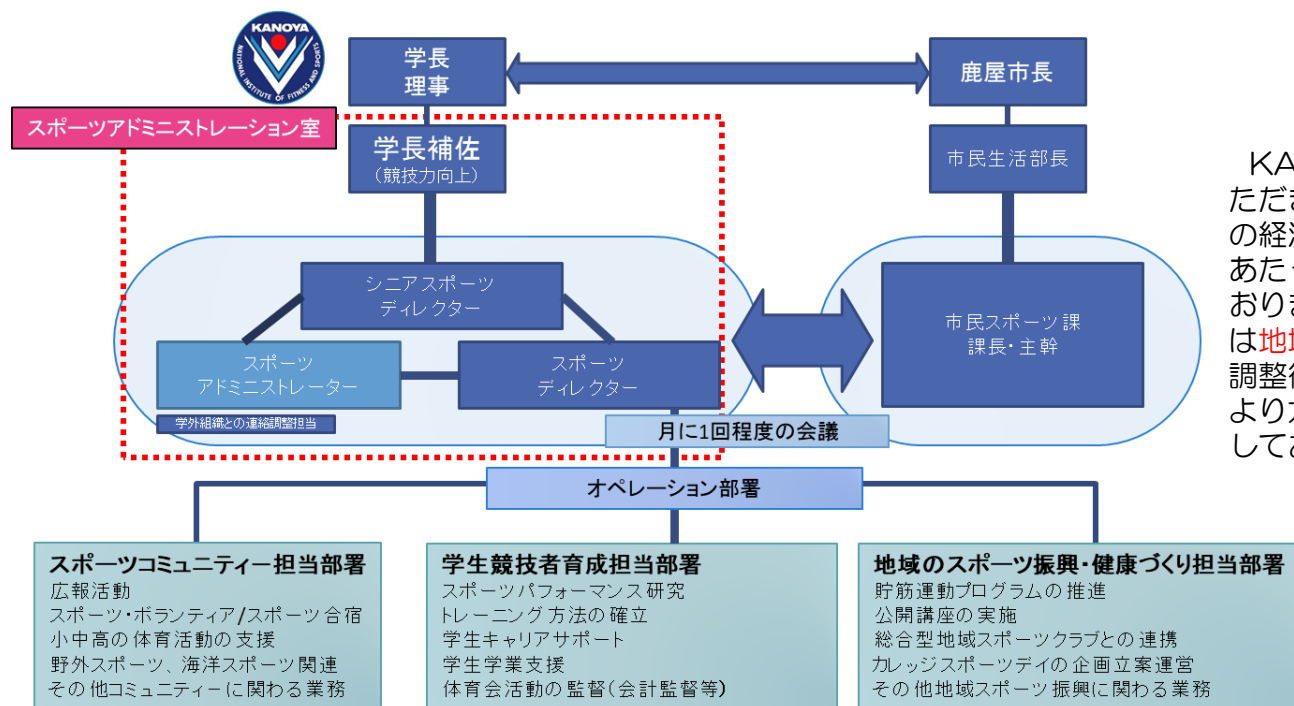
大学スポーツチームの試合を学生、地域住民が一緒になって観戦、応援するイベントや、大学が主催するスポーツイベントを通じて地域住民とともに、スポーツを楽しむ機会。

スポーツアドミニストレーション室体制



※ 平成30年度大学横断的かつ競技横断的統括組織(日本版NCAA)創設事業委託要項に示されている事業から抜粋

SA室と鹿屋市の関連



KANOYAモデルの趣旨に賛同いただき、KANOYAモデル事業への経済的支援や企画立案や実施にあたって積極的に協力いただいております。さらに、2018年からは**地域おこし協力隊員1名**を連絡調整役として派遣していただき、より太い人的ネットワークを構築しております。

* 現在は、アスレティックデパートメント (AD) とスポーツアライアンス室 (SA室) 体制

学生育成プログラムとしてのKANOYAモデル



SA室にはサポート学生が約10人います。KANOYAモデルの事業を実施するにあたり、準備作業から参加し、当日の運営にも積極的に参加してくれる頼もしいスタッフです。

KANOYAモデルの取り組み実績【平成29年度】



カレッジスポーツデイ
(九州大学サッカーリーグ公式戦)
平成29年11月3日
(土) 動員数 1,300人



カレッジスポーツデイ
(B3リーグ公式戦 鹿児島レブナイズ戦)
平成29年12月3日(土) 及び4日(日)
動員数 590人



かのやスポーツタウン
ミーティング～鹿屋が行う
鹿屋のための鹿屋体育
大学スポーツミーティ
ング～
平成30年2月18日
(土) 動員数 90人



地域密着スポーツフ
ラント名創設
“Blue Winds”
平成30年3月29日
※大学と地方自治体で
創設したスポーツフ
ラントは日本初(世界
初)

KANOYAモデルの取り組み実績【平成30年度】



U-15 KANOYAサッカーフェ
スティバル&コデ イション管理講
演会
平成30年4月3日(土)
参加者400人



2018かのやエンジョ
イスポーツ
平成30年5月20日
(土) 参加者300人



カレッジスポーツデイ
野球編
平成30年10月14日
(日) 動員数 400人



カレッジスポーツデイ バ
スケットボール編
平成30年10月21日
(日) 動員数 800人

写真で見るカレッジスポーツデイ



Go! Go! Blue Winds!!!
 ~無料!! ただ普通じゃない。個性豊かな、バスケット部ご覧あれ!!~

Blue Winds presents
2018カレッジスポーツデイ
 (日時)平成30年10月21日(日) (会場)鹿屋体育大学 総合体育館

特典① Blue Winds マフラータオル 1,000本 無料配布!!	特典② 学生食堂で ランチバイキング 500円/1人 約40種類のメニューをご用意!!	出展決定 おすすめ ハナマルシェ がやってくる!!	QRコード LINE登録 2018カレッジスポーツデイ 2018カレッジスポーツデイ
---	--	--	---

【主催】国立大学法人 鹿屋体育大学 【共催】鹿屋市 【主協賛】鹿屋体育大学SA室
 国立大学法人 鹿屋体育大学 〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1
 TEL.0994-46-5059 SA室



これが新しいスポーツの楽しみ方。

**OHSUMI
 HANAMARCHE**
 10.21 SUNDAY 10:00 to 16:00 | 鹿屋体育大学 総合体育館前
 presented by National Institute of Fitness and Sports in KANOKU



写真で見る市民運動会@大学



KANOKAモデルの成果

メディア露出機会の増加

【新聞記事】

- ・ 9月15日付 朝日新聞 17面
スポーツ庁が本学を含む8大学を選定したことについて
- ・ 11月10日付 南日本新聞18面
NCAA鹿屋モデルの一環として、11月11日に本学内で開催
の九州大学サッカーリーグ戦の応援Tシャツ配布及び観戦
呼びかけの紹介
- ・ 12月3日付 南日本新聞19面、西日本新聞17面
バスケの鹿児島レブナイズ戦の試合結果について
- ・ 12月4日付 南日本新聞18面、西日本新聞10面
バスケの鹿児島レブナイズ戦の試合結果について
- ・ 2月12日付 南日本新聞28面
- ・ 2月16日付 南日本新聞19面
かのやスポーツタウンミーティングについて
- ・ 2月20日付 南日本新聞4面
鹿屋市新年度予算に「鹿屋体育大学と連携した市民運動会」の予算配分について

【TV】

- 10/26 MBC ニュースナウ 輪動記者会見
- 11/26 MBC 大隅あれこれ サッカー応援イベント
- 12/4 MBC ニュースナウ レブナイズ公式戦
- 2/19 MBC ニュースナウ 鹿屋市今年度予算（大学スポーツ振興経費）
- 2/19 KKB ANNニュース かのやスポーツタウンミーティング
- 3/24 KTS みんなのニュース 市民大運動会の実施について

【ラジオ】

- 1/13 MBCラジオ 日本版NCAAとは？鹿屋体育大学の取り組みとは



Blue
Winds

例）平成29年度実績メディア露出 約2倍

大学訪問者数の増加

平成28年度：47,724名

平成29年度：66,565名（平成30年3月末現在）

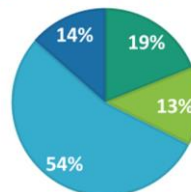
*** 1.39倍の増加** * 大学訪問者数は前年度比1.39倍となった。

*** 平成30年度：74,479名（1.6倍）**

調査に基づく企画立案（教員が実施）

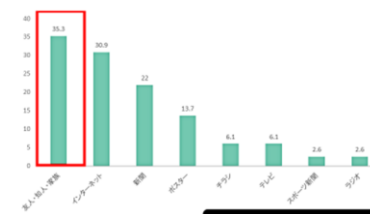
体育大生：
鹿屋体育大の情報入手方法

facebook twitter 食堂 学内掲示板



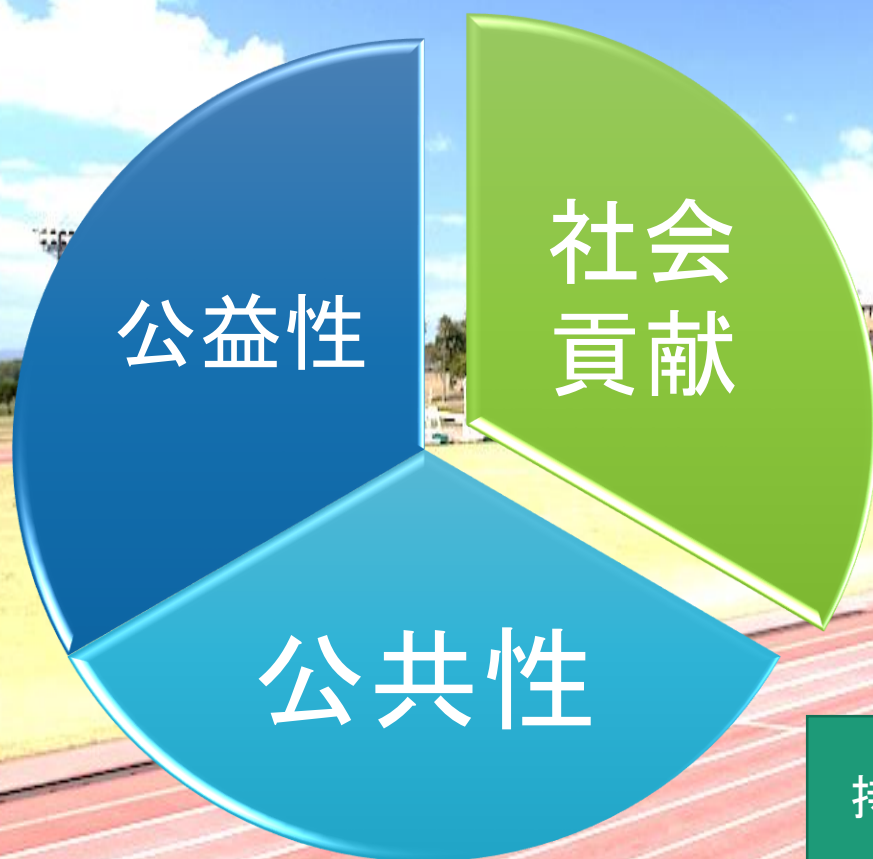
在学生の特性をつかんだPR

地域の方々：情報入手方法



地域特性をつかんだPR

継続的な社会支援・連携を実現するために・・・



持続可能な大学スポーツ振興は**社会貢献**が
ベースでなければならない

大学スポーツ振興のプロセス（鹿屋体育大学の事例）



活動評価が公益的・公共的
であれば、行政・企業市民が
応援しやすい

1 公共性の高い組織が



Blue
Winds



市予算・
企業支援



2 公益性の高いコンテンツを持ち

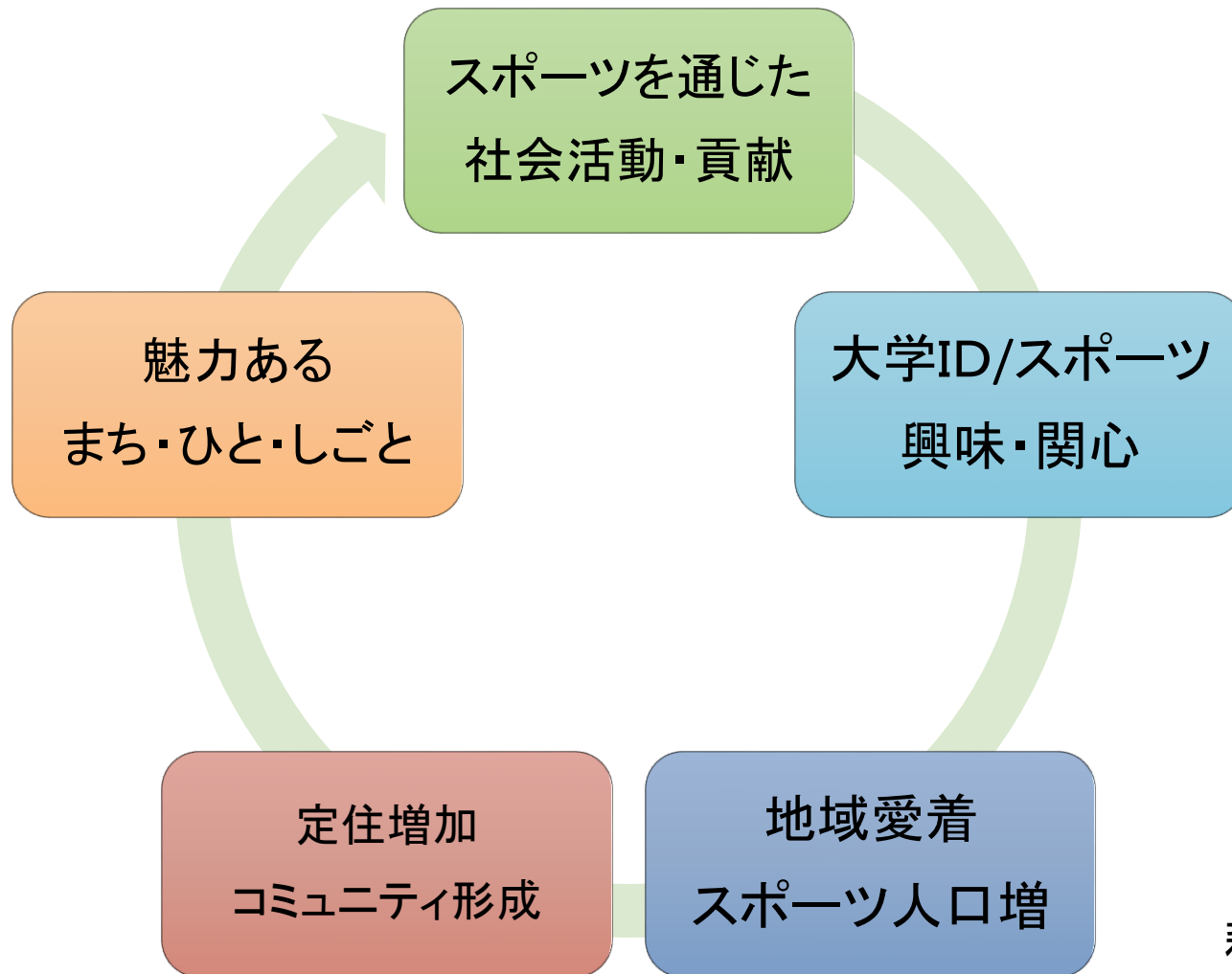


4 地域に広がる



3 メディアが取り扱い

大学のスポーツ振興通じた地域の活性化（まとめ）



萩原(2018)



UNIVAS



UNIVAS

大学スポーツ統括業務の手引書



1

学内スポーツのガバナンス

ガバナンス体制構築・指導者の管理
会計の透明性・危機管理体制 他

2

学業の充実

入学前からの動機付け・学修機会の確保
成績管理と対策・キャリア支援 他

3

安全安心な環境の整備

事故の予防対応体制・事故情報の集約
保険加入の促進・ハラスメント防止対応 他

4

事業推進・マーケティング

情報集約と広報・ブランディング推進
企業外部団体連携・地域社会貢献活動 他

UNIVAS研修会の開催

管理者

UNIVASの理念と事業

スポーツ統括部局の役割

学内研修会開催の依頼



2019年度 UNIVAS 研修会
管理者セミナー・指導セミナー教材テキスト

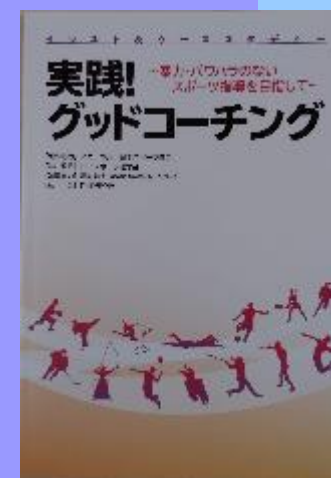
一般社団法人大学スポーツ協会
デュアルキャリア委員会事務局

UNIVASの理念と事業

危機管理とコーチング哲学

デュアルキャリア支援の必要性

学内研修会開催の依頼



指導者

UNIVAS研修会の開催

全国6会場・137大学のべ318名が参加



東京会場



愛知会場



岡山会場



大阪会場



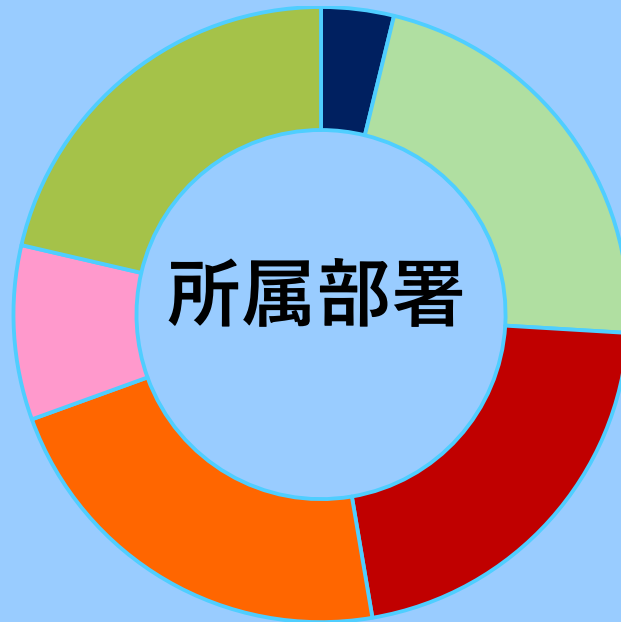
福岡会場



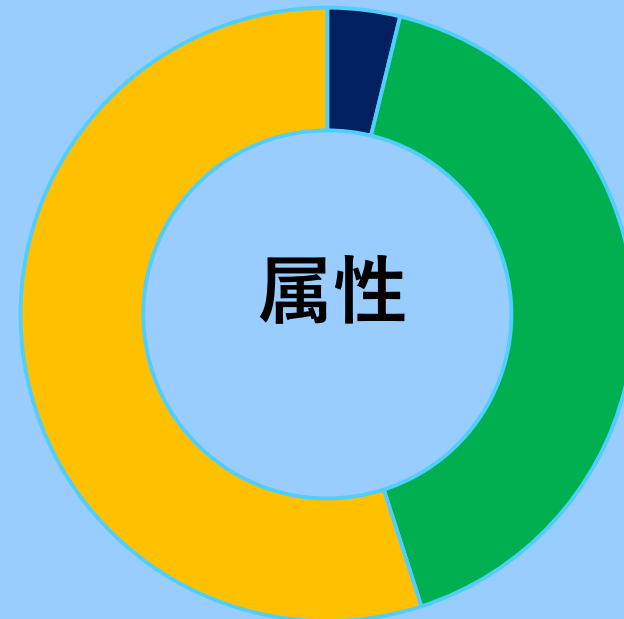
札幌会場

UNIVAS研修会 参加者プロフィール

スポーツ専門部署は 1 / 4
約半数は学生支援部署



半数以上は事務職員



■ SA :3.8%
■ 学生部:21.4%
■ その他:9.2%

■ スポーツ専門部署:22.1%
■ 学生支援部:22.1%
■ 教員:21.4%

■ SA:3.8% ■ 教員:41.2% ■ 事務職員:55.0%

今後の活動



UNIVAS



UNIVAS

第二回学長懇談会開催



- ◆日時
11月 7 日 (木)
14:30～19:00
- ◆会場
市ヶ谷
カンファレンス
センター

募集開始します！

医療従事者等の配置事業

試合・大会における安全確保策として医療従事者の配置を促進。概要の発表とエントリー受付を開始します。

UNIVASAWARD2019-20

学業両立や際立った活躍をした学生や団体を表彰する制度。概要の発表とエントリー受付を開始します。

UNIVAS通信の配信



◆UNIVASの活動内容を伝える
目的で9月より配信開始。

◆開始サービスや委員会活動
等、月1回配信。

◆各大学の窓口担当者のみ
ならず、要望する個人宛に
直接配信を実施。